

# 平成31年度 予算案の概要



東北絆まつり2019福島  
6月1日・2日開催！

～いくしまを元気に！新ステージへ～



福島市  
FUKUSHIMA CITY

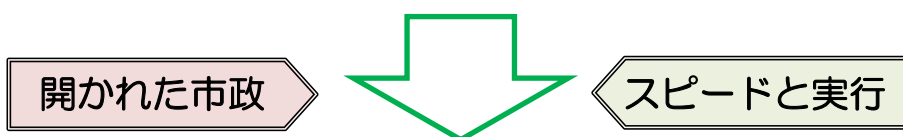
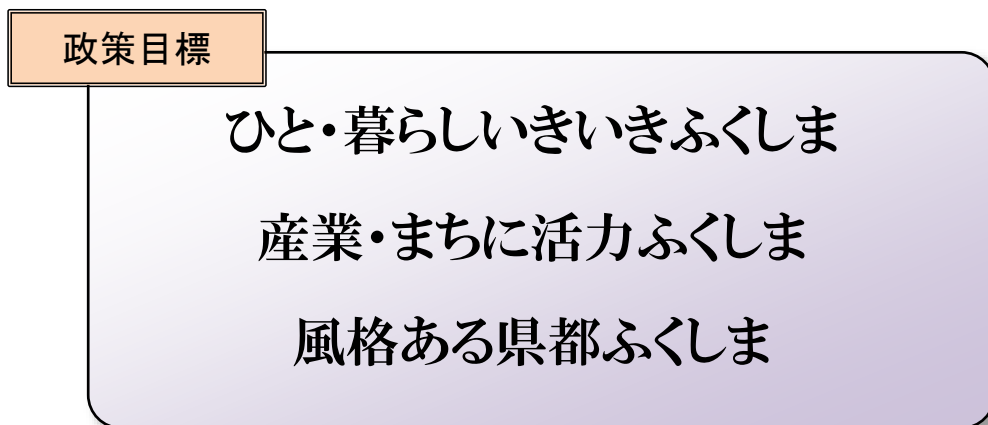


# 《 目 次 》

	ページ
I 編 成 方 針	1
II 予 算 の 規 模	1
III 一 般 会 計	
1 一般会計当初予算額	2
2 予算編成における財源確保の状況	3
3 歳入の状況	4
4 歳出の状況	6
(主要事業の紹介)	
ひと・暮らしいきいきふくしま	14
産業・まちに活力ふくしま	34
風格ある県都ふくしま	44
市民との協働によるまちづくり	48
IV 一般会計当初予算の内容及び財政資料	
1 科目別歳入予算	49
2 科目別歳出予算	50
3 自主・依存財源の内訳	51
4 性質別歳出予算	52
5 地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障施策経費 について	54
V 各 特 別 会 計	55
VI 各 事 業 会 計	
1 水道事業会計	56
2 下水道事業会計	57
3 農業集落排水事業会計	57

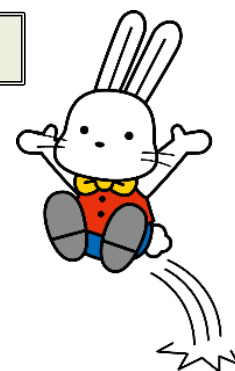
# I 編 成 方 針

市民との良好な対話と協働の推進を基本に、東日本大震災及び原子力災害からの復興を加速するとともに、将来に向けて夢が持てる新しい福島の創生を確実に具現化するため、以下の3つの政策目標を中心に施策・事業を確実に実行し、健全な財政運営を基調として、福島市の新ステージの本格的な始動を実感できる予算を編成しました。



元気あふれる福島市の新ステージ

— 県北・県全体の発展に貢献 —



# II 予 算 の 規 模

会計別の当初予算額

(単位:千円)

会計名	31年度	30年度	対前年度比較	
			増減額	増減率 (%)
一般会計	123,450,000	134,840,000	△11,390,000	△ 8.4
特別会計	56,045,705	55,876,905	168,800	0.3
水道事業会計	11,152,401	11,308,322	△155,921	△ 1.4
下水道事業会計	12,792,196	12,737,974	54,222	0.4
農業集落排水事業会計	300,519	301,860	△1,341	△ 0.4
合 計	203,740,821	215,065,061	△11,324,240	△ 5.3

※特別会計及び各事業会計については、55ページ以降に詳細を記載しています。

### Ⅲ 一 般 会 計



#### 1 一般会計当初予算額

**1,234億5,000万円**

(対前年比 △113億9,000万円 △8.4%)

◇うち除染関連事業費

**19,393,000 千円**

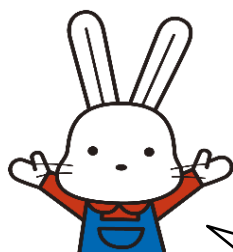
(対前年比△15,111,000千円 43.8%減)

- 除去土壌搬出等推進事業
- ため池等放射性物質の除去

19,000,000 千円

393,000 千円

#### ★ 除染関連事業費を除いた当初予算額



**1,040億5,700万円**

(平成30年) 1,003億3,600万円

(対前年比 +37億2,100万円 +3.7%)

**過去最高の積極型予算！**

#### ○一般会計当初予算額の推移

(単位:千円)

年度	予 算 額	対前年度 増減率	地方財政 計画伸率	歳出予算に含まれている 除染関連事業費(主な変動要因)
28年度	188,580,000	△ 10.3	0.6	除染関連事業費 △230億円
29年度	141,880,000	△ 24.8	1.0	除染関連事業費 △523億円
30年度	134,840,000	△ 5.0	0.1	除染関連事業費 △93億円
<b>31年度</b>	<b>123,450,000</b>	<b>△8.4</b>	<b>3.1</b>	除染関連事業費 △151億円

## 2 予算編成における財源確保の状況

### (1) 事務事業の見直し

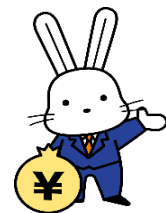
経常的経費に一般財源「枠配分」方式を導入し、経費の節減を図るとともに、実績や効果を効率性、有効性等の観点から徹底検証し、限られた財源の有効活用に努めました。

⇒ **削減額** **約143,000千円**

### (2) 各種基金の活用

財政調整基金をはじめとする各種基金を財源として有効に活用しました。

⇒	財政調整基金	2,400,000 千円
	減債基金	373,454 千円
	復興基金	171,786 千円
	環境基金	300,341 千円
	子ども・子育て基金	174,012 千円
	スポーツ振興基金	150,300 千円
	産業振興基金	44,220 千円
	温泉地施設整備基金	21,000 千円
	文化施設整備基金	30,819 千円
	古閑裕而音楽賞基金	14,339 千円
	その他の基金 (緑化基金ほか3基金)	8,605 千円
<b>計</b>	<b>3,688,876 千円</b>	



主な基金の状況(年度末現在高)

(単位:千円)

区 分	26年度末	27年度末	28年度末	29年度末	30年度末 (見込)	31年度末 (見込)
財政調整基金	8,240,086	8,242,730	8,743,814	7,237,962	7,014,204	4,618,918
減債基金	1,913,928	2,354,596	2,755,126	2,755,538	2,757,220	2,386,247

### 3 歳入の状況

歳入予算は、市税及び地方交付税などの一般財源や国県支出金の確保をはじめ、基金や市債の活用を図るなど、可能な限り財源確保に努めました。

主な歳入科目の状況は以下のとおりです。

#### (1) 市税 399億円（対前年比 △3億円 △0.7%）

市民税は、給与所得や企業収益の減、配偶者特別控除等の税制改正の影響により、9億7,600万円減の182億4,000万円を見込んでいます。

固定資産税は、家屋における新增築分の増等により、5億520万円増の162億2,300万円を見込んでいます。

その他、軽自動車税は、環境性能割の創設等により1,700万円増の7億6,000万円、都市計画税は、固定資産税と同様の理由により、1億480万円増の26億6,900万円を見込んでいます。

#### (2) 地方交付税 116億円（対前年比 △1億5,000万円 △1.3%）

※震災復興特別交付税を除くと、104億円（対前年比 △1億円 △1.0%）

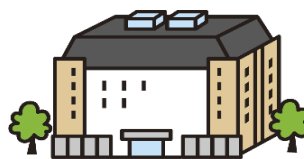
普通交付税は、中核市移行後の臨時財政対策債への振替額増を考慮し、2億円減の93億円を見込んでいます。

また、特別交付税は1億円増の11億円、東日本大震災からの復興にかかる特別な財政需要に対して措置される震災復興特別交付税は、5,000万円減の12億円をそれぞれ見込んでいます。

#### (3) 市債 100億4,360万円（対前年比 △3億1,340万円 △3.0%）

事業充当の市債は、福島養護学校校舎等改築事業や、中央市民プール改修事業、渡利学習センター整備事業、地域振興施設整備事業など、対象事業の増加はあるものの、新斎場整備事業などの大型事業の進捗により、△5億1,340万円の減となります。

また、臨時財政対策債については、地方財政計画における全体的な発行額抑制を反映した上で、中核市移行後の振替額増の影響を考慮し、2億円の増を見込んでいます。



○一般会計市債残高と臨時財政対策債借入額の推移

(単位:千円)

年度	年度末市債残高 (A)	うち臨時財政対策債 (B)	実質的な市債残高 (A) - (B)	備考	
				臨時財政対策債借入額	
20年度	92,331,051	15,726,925	76,604,126	2,102,400	H20～旧飯野町分含む
21年度	89,528,639	18,465,680	71,062,959	3,260,000	
22年度	89,166,395	23,386,307	65,780,088	5,580,000	
23年度	87,225,363	27,564,466	59,660,897	4,970,000	
24年度	85,723,646	32,205,738	53,517,908	5,550,000	
25年度	83,961,474	36,481,182	47,480,292	5,370,000	
26年度	83,690,010	39,719,770	43,970,240	4,660,000	
27年度	82,024,488	42,002,026	40,022,462	4,000,000	
28年度	80,970,133	43,305,115	37,665,018	3,360,000	
29年度	81,635,691	44,736,984	36,898,707	3,820,000	
30年度 (見込み)	89,451,116	46,522,863	42,928,253	4,460,000	
<b>31年度 (見込み)</b>	<b>91,950,481</b>	<b>47,594,647</b>	<b>44,355,834</b>	<b>4,000,000</b>	

◆ 臨時財政対策債(平成13年度創設)

国から地方へ配分する地方交付税が不足するため、不足額の一部を地方公共団体の借金へ振り替えて補てんするために発行する地方債。返済額の100%が地方交付税で措置される。

◆ うち、「福島地方水道用水供給企業団出資債」の残高 9,606,771千円(実質的な市債の約21.7%)

摺上川ダムから受水し、水道水の安定供給を行う企業団への出資金に対する借入(S61～H17 26,855,400千円)。



## 4 歳出の状況

当初予算の主な施策事業について紹介します。（◎新規、○一部新規及び事業の拡充）

# 子どもたちの未来へ

### ○待機児童と待機学童の解消に向けて

6,466,033千円

本市初となる市立認定こども園の開設など「待機児童対策緊急パッケージ」を拡充するとともに、保育の質の確保に積極的に取り組み、待機児童のさらなる解消を図ります。

また、放課後児童クラブの立ち上げや増設により、待機学童の解消を図ります。

#### ○待機児童対策緊急パッケージの拡充 112,082千円

※「待機児童対策緊急パッケージ」予算総額 1,238,220千円

- 市立認定こども園（3園）の開設（保育定員120名の増）
- AIを活用した入所選考
- 保育人材バンクの活用
- 保育士奨学資金貸付（無利子）

#### ○保育士と保育の質の確保 79,165千円

- 認可外保育施設巡回支援指導事業
- 保育士宿舎借り上げ支援事業
- 保育支援員雇用支援事業
- 保育士相談支援事業
- 潜在保育士就労支援事業
- 保育士等確保対策事業
- 保育人材バンクの活用（再掲）

#### ○保育施設の運営 5,725,679千円

- 私立保育所（H30：31園⇒H31：34園）
- 私立認定こども園（H30：10園⇒H31：11園）
- 地域型保育施設（H30：17園⇒H31：22園）

#### ○放課後児童クラブの運営 549,107千円

（H30：73クラブ ⇒ H31：81クラブ）





## ○虐待の防止に向けて

15,938千円

児童虐待の発生予防から自立支援までの一連の対策を強化するため、「子ども家庭総合支援拠点」設置に向け、専門職員を配置し体制を整備するほか、子どもや若者の居場所づくりに積極的に取り組みます。

◎ 子ども家庭総合支援拠点事業	5,938千円
地域における子どもの居場所づくり支援事業	3,000千円
いじめ・不登校防止等対策推進事業	3,500千円
ユースプレイス自立支援事業	3,500千円

## ◎幼児教育・保育無償化に向けて

15,689千円

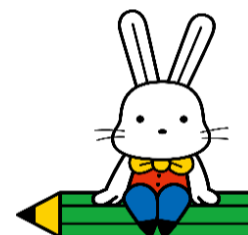
本年10月からの幼児教育・保育無償化の実施に向け、専任職員を配置するとともに、保育料改定や支給認定に係るシステムを改修します。

## ○充実した学習環境の整備

3,096,948千円

子どもたちの快適な学習環境の確保のため、学校耐震化やトイレ洋式化等を計画的に進めます。

○ 学校耐震化	1,401,316千円
※国の補正予算を活用して事業費の一部を3月補正に前倒し	
○ 学校トイレ洋式化(400基)	222,220千円
※平成30年度から4カ年で1,619基改修	
◎ ICT整備	603,270千円
※平成31年度から4カ年でタブレット等を全校に整備	
○ 外国語教育の推進	92,142千円
○ 特別支援学校(福島養護学校)の整備	778,000千円



## ○子どもたちのチャレンジを応援

17,728千円

本市の復興を担い、夢や希望を持ってチャレンジする子どもたちを応援します。

◎ 海外チャレンジ応援事業	5,250千円
◎ 頑張るふくしまっ子復興夢応援基金事業	2,000千円
中学生ドリームアップ事業	10,478千円



# 「健都ふくしま」の創造

## ○「健都ふくしま」の創造

1,506,910千円

地域や職場、関係団体等との連携を強化し、実効性のある市民の健康づくりを推進します。

### ◎ 健都ふくしま創造事業

7,887千円

- 健都ふくしま創造市民会議の開催
- 受動喫煙対策
- 食育の推進
- 歯と口腔の健康づくり
- 子どものむし歯予防対策
- 地域の健康づくり
- 職場の健康づくり
- 健康づくり推進協議会

### ○ がん検診事業(受診再勧奨の対象者を拡大)

731,314千円

### ○ 予防接種事業(風しんの感染拡大対策を実施)

767,709千円

## ○「高齢者の元気」の創造

346,395千円

高齢者の生きがいづくりと健康増進を支援する「高齢者元気アップ事業」を新たに実施するとともに、高齢者の社会参加推進と高齢者福祉の充実を図ります。

### ◎ 高齢者元気アップ事業

2,964千円

### ◎ 「いきいきももりん体操」伝道師養成事業

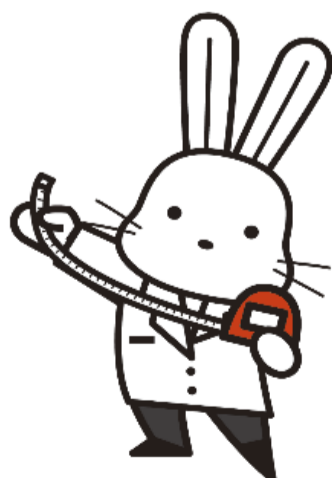
270千円

地域の介護予防活動への支援(地域ふれあい元気づくり楽校等)

5,232千円

地域包括支援センターの運営(22カ所)

337,929千円



# 安全安心の確保

## 除去土壌の現場保管解消

19,393,000千円

保育所、幼稚園及び学校の除去土壌を2019年度末までに、住宅については2020年度末までに、仮置場等への搬出を完了させます。

また、国が示した2021年度末までの中間貯蔵施設への輸送完了を目指します。

除去土壌搬出等推進事業 19,000,000千円

ため池等放射性物質の除去 393,000千円

## ○消防力の充実強化

271,941千円

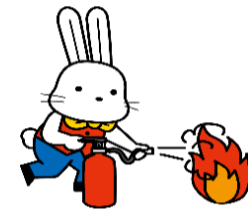
消防力のさらなる充実強化と、自然災害時の対応力及び復旧力の向上を図ります。

◎ 福島消防署清水分署整備事業 21,700千円

◎ 消防救急デジタル無線の更新 179,840千円

消防団被服・安全対策装備品の整備 10,945千円

防火水槽や消火栓の整備 59,456千円



## ○地域における安全安心の確保

98,871千円

ハザードマップの作成・配付や標識の設置等を実施し、地域の安全安心を確保します。

◎ 防災情報伝達システム検討事業 802千円

避難所誘導標識等設置事業 21,582千円

◎ 洪水・内水ハザードマップ事業 } ※ 72,512千円

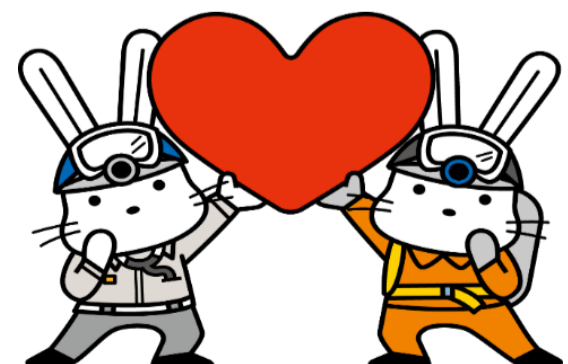
◎ 吾妻山火山防災マップ作成事業 } 3,975千円

※国の補正予算を活用して事業費の一部を3月補正に前倒し

○ 上水道老朽管更新事業(水道事業) 1,978,611千円

※2020年度末までに、年間更新率1.0%を目指します。(H31 : 0.85%)

(注)水道事業については、合計に含みません。



# まちのにぎわいと活力

## ○観光推進体制の強化

88,890千円

観光振興の中核組織である「福島市観光コンベンション協会」に対して補助を行い、推進体制の強化を図ります。

## ○東北絆まつり開催と福島わらじまつり50回

262,386千円

東北六市の祭りが一堂に集結する「東北絆まつり2019福島」を盛大に開催するとともに、六市共同で観光プロモーション事業等を実施します。

また、福島わらじまつり50回の節目にリニューアルしたわらじおどりをアピールするため、わらじまつりPR隊を結成し、元気なふくしまを県内外へ広く発信します。



## ○インバウンド等観光対策の強化

114,044千円

インバウンド受け入れ体制の強化により交流人口を拡大し、さらなる観光振興を図ります。

- ◎ 留学生等のモニターツアー 1,500千円
- ◎ 福島駅前広場のWi-Fi環境整備 19,495千円
- ◎ 公共施設案内表示の多言語化 17,500千円
- ◎ 吾妻山登山ルート of 整備・活用(米沢市と連携) 21,549千円
- 公共施設のトイレ洋式化 54,000千円

※平成30年度から3カ年で244基改修(4カ年→3カ年へ前倒し)

## ○福島大笹生IC周辺における工業団地と「道の駅」の整備

1,079,793千円

福島大笹生ICに隣接する「福島おおざそうインター工業団地」の造成工事が完了し、新たな区画の予約販売を開始します。

また、同団地の区画内に整備予定の地域振興施設「道の駅」の整備を進めるとともに、積極的な企業誘致を進めます。

- 新工業団地整備事業 555,580千円
- 地域振興施設「道の駅」整備事業 508,100千円
- 企業立地促進事業 16,113千円

## ○農業再生への新たな展開

96,389千円

就農支援により本市農業を担う人材確保に取り組むとともに、気候変動への対応や農作物被害対策を強化します。

- 新規就農支援事業 31,200千円
- ◎ 農業就業拡大推進事業(親元・兼業・移住就農) 3,740千円
- ◎ 気候変動に対応した農業対策 8,000千円
- ◎ 第三者認証GAP取得等促進事業 954千円
- 農作物被害対策 47,170千円
- 農産物を活用した加工食品の産業化 5,325千円



## ○福島大学食農学類に対する支援と連携事業の推進

612,578千円

平成31年4月開設の福島大学食農学類の施設整備に要する費用を支援するとともに、食農学類と地域が農業の課題解決に取り組む実践教育プログラムの実施など、大学との連携事業を推進します。

# オリンピック・パラリンピックと レガシー 遺産の創出

## ○大会開催に向けた推進事業




88,000千円

「東京2020オリンピック・パラリンピック」の大会成功に向け、オール福島で取り組みを強化していきます。

○ 野球・ソフトボール競技開催準備	14,035千円
○ 事前合宿の誘致・実施	18,022千円
○ ホストタウン交流事業	15,570千円
○ 大会PR事業、啓発イベント開催等	40,373千円

## ○オリンピック・パラリンピックを契機としたまちづくり

1,009,645千円

○ スポーツのまちづくり	761,318千円			
▪ 十六沼公園サッカー場整備関連事業				
▪ 中央市民プール改修事業				
▪ 信夫ヶ丘球場改修事業				
○ 誰にでもやさしいまちづくり	30,957千円			
▪ 多文化共生のまち福島推進事業				
▪ 国際交流事業				
▪ 福島駅西口周辺バリアフリー整備事業				
▪ 手話言語条例に基づく取り組み (手話通訳用タブレットの導入、手話奉仕員派遣、手話出前講座等)				
▪ ヘルプマーク普及事業				
▪ 県ろうあ者スポーツ大会の開催				
○ 賑わいのまちづくり	217,370千円			
▪ 福島駅前広場マルチビジョン等設置				
▪ おもてなし道路整備事業				
▪ ふくしまの顔づくり事業				
▪ 福島駅西口に「ふくしまの水」の水飲み場を整備(水道事業)				

(注)水道事業については、合計に含みません。

# 風格ある「県都ふくしま」

## ◎中心市街地のまちづくりと公共施設の再編整備

280,796千円

「風格ある県都を目指すまちづくり構想」に基づき、中心市街地のまちづくりを推進するとともに、公共施設の再編整備を進めます。

◎ 風格ある県都を目指すまちづくり事業 9,196千円

▪ 福島駅前交流・集客拠点施設、市役所本庁舎西棟、図書館

◎ 福島駅東口地区市街地再開発事業 271,600千円

## ○広域連携の推進

39,615千円

近隣市町村との連携を深めながら各種事業を展開し、現代の地方自治体を取り巻く諸課題の解決等に取り組んでいきます。

観光圏整備事業(相馬、二本松、伊達) 19,200千円

○ 福島圏域連携強化推進事業(6市3町2村) 2,000千円

○ 福島圏域合同移住セミナー(5市3町2村) 1,379千円

南東北拠点都市連携誘客宣伝事業(仙台、山形) 2,767千円

鉄道バス等公共交通施設整備促進(2県3市2町) 14,269千円

## ○歴史・文化と次世代環境が調和したまちづくり

1,345,669千円

本市の歴史と文化を活かした特色ある事業を展開するとともに、次世代に残る快適な環境づくりを推進します。

古閑裕而氏を活かしたまちづくり 37,762千円

○ 写真美術館の再整備 272,821千円

○ 民家園「旧広瀬座」の改修・活用事業 10,575千円

○ 再生可能エネルギー(水素・太陽光)の導入促進 36,125千円

○ 「ごみ減量大作戦」の推進 17,923千円

○ 新最終処分場の整備 970,463千円



## ○移住・定住の促進

196,685千円

本市の魅力や情報の発信とUIJターンへの積極的な支援、商住複合ビルの整備等により、本市への移住・定住を促進します。

◎ UIJターン移住支援事業 12,960千円

UIJターン保育士就労支援事業 2,000千円

ふくしま定住推進事業 2,725千円

◎ 新浜町地区優良再開発型優良建築物等整備事業 137,000千円

太田町地区市街地住宅供給型優良建築物等整備事業 42,000千円

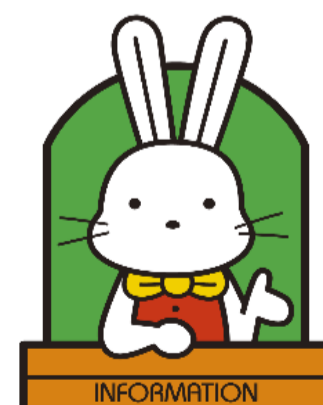
# 市政運営の新ステージ

## ◎情報化の推進

99,394千円

新システムの導入等により、市民サービスの向上はもとより、コストの縮減と事務作業の効率化、スピードアップを図ります。

- |                                   |          |
|-----------------------------------|----------|
| ◎ 基幹GIS推進事業                       | 10,200千円 |
| ◎ 音声翻訳機の導入                        | 77千円     |
| ◎ AIを活用した保育所の入所選考(再掲)             | 4,632千円  |
| ◎ 手話通訳用タブレットの導入(再掲)               | 247千円    |
| ◎ 新システムの導入                        | 84,238千円 |
| ▪ 庶務事務システム(時間外勤務や休暇等、職員の労務管理)     |          |
| ▪ SMS送信システム(ショートメールの一斉送信)         |          |
| ▪ 電子申告データ取込みシステム(償却資産申告の処理のデータ化)  |          |
| ▪ 子育て支援システム(各種手続きの効率化、AI入所選考との連携) |          |



# 1 ひと・暮らしいきいきふくしま

(1)子どもと女性に魅力的なまち

◎…新規事業 ○…一部新規及び事業の拡充  
(説明欄中下線の部分)

	事業名	予算額 千円	説 明	担当部	
	1 待機児童解消の推進 【待機児童対策 緊急パッケージ】	1,238,220			
	(1) 保育の受け皿の拡大				
○	① 児童福祉施設等 整備事業	1,034,209		新たな保育施設の整備(2施設)や既存施設の 改築等(4施設)により、保育定員の拡大を図ります。	こども未来
◎	② 市立認定こども園 運営	87,392		本市初となる市立認定こども園(ふくしま中央・ ひらの・いいの)の開設により保育定員を120人 拡大し、待機児童のさらなる解消を図ります。	こども未来
○	③ 企業主導型保育 支援事業	3,100		企業主導型保育施設(3施設)の設置に係る経費 の一部を補助します。	こども未来
	④ 私立幼稚園預かり 保育支援事業	7,976		預かり保育実施のために専属の保育士等を雇用 する私立幼稚園に対し、経費の一部を補助します。	こども未来
	⑤ 保護者相談支援事業	2,630		保護者の相談業務を実施し、多様な保育サービ スのマッチング等を行います。	こども未来
◎	⑥ AIを活用した入所選考	4,632		認可保育施設への入所選考にAIを活用し、 ミスマッチの減少による待機児童解消、作業 時間の短縮による事務の効率化を図ります。	こども未来
	(2) 保育士の確保				
	① 保育士宿舍借り上げ 支援事業	14,760		保育士の宿舍を借り上げる保育施設に対し、 経費の一部を補助します。	こども未来
	② 保育支援員雇用 支援事業	37,800	保育士の業務をサポートする支援員を雇用する 保育施設に対し、経費の一部を補助します。	こども未来	
	③ 保育士相談支援事業	3,063	保育士の相談業務や研修の実施により、保育士 の定着を図ります。	こども未来	
○	④ 潜在保育士 就労支援事業	2,852	公立・私立認可保育施設において、潜在保育士 の実地研修を実施し、就労を支援します。	こども未来	
	⑤ 保育士等確保 対策事業	17,748	保育士有資格者を「保育補助者」として雇用する 私立保育施設に対し、費用の一部を補助します。 また、市内の保育施設への就職を希望している 方を対象に、施設見学会等を実施します。	こども未来	
	⑥ UIJターン保育士 就労支援事業	2,000	県外から本市に転入して就労する保育士に対し、 就労支援金を交付します。	こども未来	



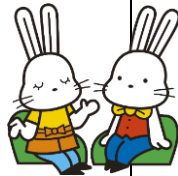
	事業名	予算額 千円	説明	担当部
◎	⑦ 保育人材バンク 事業	58	市内の保育施設等への就労を希望している方を支援するため、「保育人材バンク」を活用し、就労へつなげます。	こども未来
◎	⑧ 保育士奨学資金 貸付事業	20,000	保育士を目指す学生に対し、修学に必要な資金の一部を無利子で貸し付けます。 また、卒業後の市内保育施設への就労状況により、返還を減免します。	こども未来
	2 子ども・子育て支援 新制度関連			
○	(1) 利用者支援事業	6,236	子育てコーディネーターを配置し、子育て家庭のニーズに応じた適切なサービスにかかる情報提供や相談、利用支援等を行います。 また、電子母子手帳アプリを導入し、子育てに役立つ様々な情報を提供します。	こども未来
	(2) 公立保育所運営	1,403,274	公立保育所における保育のほか、延長保育や障がい児保育、一時預かりを実施します。	こども未来
○	(3) 私立保育所運営	3,822,337	私立保育所における保育のほか、延長保育や障がい児保育、一時預かり、病児保育(体調不良児対応型)を実施します。 (H30:31園 ⇒ H31:34園)	こども未来
○	(4) 私立認定こども園 運営	1,015,332	私立認定こども園における教育・保育のほか、延長保育や障がい児保育、一時預かり、病児保育(体調不良児対応型)を実施します。 (H30:10園 ⇒ H31:11園)	こども未来
	(5) 私立幼稚園運営	72,041	私立幼稚園における教育のほか、預かり保育を実施します。	こども未来
○	(6) 地域型保育施設 運営	888,010	地域型保育施設における保育のほか、延長保育や障がい児保育を実施します。 (H30:17園 ⇒ H31:22園)	こども未来
	3 認可化移行運営費 支援事業	50,977	保育施設のスムーズな認可化を支援するため、移行経費の一部を補助します。	こども未来
○	4 市立幼稚園 預かり保育事業	22,702	市立幼稚園全園での預かり保育を実施します。 (H30:3園 ⇒ H31:10園)	教育委員会
	5 私立幼稚園長時間 預かり保育事業	5,593	私立幼稚園で実施する長時間預かり保育に対し、経費の一部を補助します。	こども未来



	事業名	予算額 千円	説明	担当部
◎	6 幼児教育・保育無償化事業 	15,689	幼児教育・保育無償化の実施に向けて、専任職員を配置するとともに、各種システムの改修を行います。	こども未来
◎	7 認可外保育施設巡回支援指導事業	2,884	認可外保育施設の巡回支援指導を実施することで注意喚起体制を強化し、保育や施設運営に関する助言・指導を行います。	こども未来
	8 子育て世代包括支援センター事業	9,250	子育て支援のワンストップ拠点である「子育て相談センター・えがお」において、全ての妊産婦を対象に、関係機関と連携しながら必要な支援を行うとともに、親支援事業を実施します。	こども未来
	9 地域子育て支援拠点事業	188,273	地域子育て支援センター(23施設)を設置し、地域における子育て相談や情報提供、その他援助を行うための事業を実施します。	こども未来
	10 こんにちは赤ちゃん事業	2,970	「こんにちは赤ちゃん応援隊」と保健師が連携して、生後4か月までの乳児がいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や、子どもの健やかな成長への支援を行います。(隊員数 :95名)	健康福祉
	11 乳児・妊産婦等訪問指導事業	656	保健師や助産師等が、乳児や妊産婦のいる家庭を訪問し、子育てに関する不安や悩みの相談を受け、支援します。	健康福祉
	12 妊産婦健診事業	238,841	母親の産後1か月健診を含む健診費用を16回まで助成します。	こども未来
	13 産後ケア事業	2,368	産後にうつ傾向や育児不安を持つ産婦とその乳児に、医療機関等におけるショートステイやデイケアによる支援を提供し、適切な健康管理や育児不安の軽減を図ります。	こども未来
	14 子育てころのケア事業	846	乳幼児の保護者を対象に学習会や個別相談を実施し、子育ての不安軽減を図ります。	健康福祉
	15 児童虐待防止推進事業	983	児童に対する虐待の早期発見・対応のため、関係機関とのネットワークを強化します。	こども未来

	事業名	予算額 千円	説明	担当部
◎	16 子ども家庭総合支援拠点事業	5,938	児童虐待の発生予防から自立支援までの対策を強化するため、「子ども家庭総合支援拠点」の設置に向け、専門職員を配置し、体制を整備します。 	こども未来
	17 一般不妊治療費助成事業	1,813	一般不妊治療(人工授精)にかかる費用の一部を助成します。	こども未来
	18 特定不妊治療費助成事業	45,339	特定不妊治療(体外受精、顕微授精)にかかる費用の一部を助成します。	こども未来
	19 小児慢性特定疾病対策等事業	59,556	小児慢性特定疾病の医療費助成や日常生活用具の給付、自立支援事業等を実施します。	こども未来
	20 子育て世帯応援に係る手当	302,690	市独自に中学生以下の子ども1人あたり1万円の手当を支給し、子育て世帯の経済的負担の軽減と、子どもを産み育てやすい環境の整備を図ります。	こども未来
	21 子ども医療費助成	1,224,775	乳幼児から高校生までの疾病の早期発見と治療を促進し、健やかな成長に寄与するため、医療費助成を実施します。	健康福祉
	22 さんどパーク運営	34,500	市民会館内の遊び場「さんどパーク」を運営し、子どもの体力・運動機能向上を図ります。	こども未来
	23 元気アップ支援事業	110,600	保育所や私立幼稚園等において、子どもたちの運動量確保と体力向上のための取り組みを実施し、健全育成を図ります。	こども未来
	24 女性活躍・働き方改革推進事業	6,700	出産や育児等で離職した女性が再就職を希望する際に、就労型実習による支援を行い、働く女性のキャリアアップと安定的な雇用につなげるとともに、働く女性の受け皿となる企業の働き方改革支援や求人開拓等を行います。	商工観光
	25 働く女性応援企業認証事業	254	女性が活躍できる職場づくりや、仕事と家庭の両立に対する支援等を積極的に行う企業を市独自の基準で認証し、広く公表することで、女性が活躍するまちづくりを推進します。	商工観光
	26 女性の創業応援利子補給事業	729	女性が融資を受けて創業する際の利子を、2年間全額補助します。	商工観光

事業名	予算額 千円	説明	担当部
27 女性が輝く まちづくり推進事業	927	女性が活躍できるまちづくりを推進するため、企業・団体等で働く女性を対象に、働きやすい職場づくり、キャリアアップを支援する講座を開催します。	総務
28 女性相談事業	5,306	配偶者などからの暴力や自立支援など、女性からの相談に対応するため、女性相談員を配置します。	こども未来
29 女性教育事業	2,959	女性の地位の向上等を図るため、主体的に創造力と実践力を育む女性学級を各地区で開設するとともに、女性リーダーを育成するための研修会等を実施します。	教育委員会
30 ひとり親家庭自立 支援事業	10,373	資格取得費用等の一部助成により、ひとり親家庭の自立促進と生活安定を図ります。	こども未来
31 母子父子寡婦 福祉資金貸付事業	11,678	ひとり親家庭及び寡婦(夫)に対し、就学資金等の貸付を実施します。	母子父子寡婦特会
○ 32 男女共同参画 啓発事業	3,308	福島県男女共生のつどいやトップセミナー等の開催、男女共同参画についてのメッセージ作品の募集・展示のほか、男女共生講座や出前講座の開催により、男女共同参画意識のさらなる醸成と啓発を図ります。	総務
33 男女共同参画 指導者養成事業	586	企業や地域社会等において、男女共同参画を推進する「イクボス」などのリーダー的人材を養成するための講座を開催します。	総務
計	10,815,513		



(2) 高齢者や障がい者が元気に過ごせるまち

事業名	予算額 千円	説明	担当部
1 地域包括ケア システムの推進			
(1) 地域包括支援 センター運営	337,929	地域包括ケアシステムの中核となる機関「地域包括支援センター」(22ヵ所)を運営します。	介護特会
(2) 地域包括支援 センター機能強化 事業	99,355	地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、認知症高齢者やその家族を支援する体制を強化します。	介護特会

	事業名	予算額 千円	説 明	担当部
	(3) 生活支援体制整備事業	42,985	地域支え合い推進員の配置や地域協議会の設置を進め、各地域における生活支援と介護サービスの提供体制構築を図ります。	介護特会
	(4) 在宅医療・介護連携推進事業	18,008	在宅医療・介護連携支援センターを保健福祉センター内に設置し、往診や訪問看護を活用した在宅医療の普及啓発、医療と介護の連携を図ります。	介護特会
◎	2 高齢者元気アップ事業 	2,964	高齢者の生きがいづくりと健康増進を図るため、各地区にニュースポーツ用具を整備します。また、高齢者向けのICT講座を開催します。	健康福祉
◎	3 いきいきももりん体操伝道師養成事業	270	介護予防体操「いきいきももりん体操」の熟練者である伝道師を養成し、地域で取り組む介護予防・健康づくりを支援します。	介護特会
○	4 地域介護予防活動支援事業	5,232	「いきいきももりん体操」や「いきいきももりんお口の体操」の取り組み団体の立ち上げや運営を支援するとともに、高齢者の健康づくり、社会参加、生涯学習を推進する「地域ふれあい元気づくり楽校」を開催します。	介護特会
○	5 介護予防普及啓発事業	3,932	情報紙の作成や「いきいき介護予防大会」の実施など、介護予防の普及啓発を図ります。 また、 <u>フレイル(虚弱高齢者の重症化)予防に関する講演会を開催</u> します。	介護特会
	6 路線バス等高齢者利用促進事業	198,001	75歳以上の市民や広域避難者を対象に、市内路線バス及び福島交通飯坂線の運賃無料化を実施します。	都市政策
	7 ふくしまマスターズ大学事業	4,695	心身ともに健康な生活の増進や、生涯学習の意識高揚を図るため、著名な講師による講演会を開催します。	教育委員会
	8 敬老会の開催	24,788	長寿を祝い敬老の意を表するため、市内27地区において敬老会を開催します。	健康福祉
	9 敬老祝金	17,840	88歳で5千円、100歳時に10万円の祝金を支給します。	健康福祉
	10 老人クラブ育成事業	11,021	高齢者の生きがい活動を支援するため、老人クラブの運営費等の一部を補助します。	健康福祉

	事業名	予算額 千円	説明	担当部
	11 温泉利用介護 予防事業	23,000	市内の温泉旅館において、介護予防のための デイサービス事業を実施します。	健康福祉
	12 緊急通報装置 貸与事業	35,499	ひとり暮らし高齢者や重度障がい者に緊急通報 装置を貸与し、急病や事故発生時に迅速に対応 できる体制を整備します。	健康福祉
◎	13 生活習慣病等重症化 予防モデル事業	1,800	75歳以上の高齢者の糖尿病の重症化予防を 目的として、健康運動指導士による個別指導等 を行います。	市民安全
	14 ふれあい訪問 収集事業	5,662	自らごみを集積所まで持ち出すことが困難な 高齢者や障がい者世帯を対象に、安否確認を 兼ねた戸別訪問収集を実施します。 (登録数 H30. 12月末現在:1, 026世帯)	環境
	15 福島市版オレンジ プラン推進事業	2,724	認知症ケアパスの普及や「ふくふくオレンジ フェスタ」の開催等により、認知症や予防に関する 普及・啓発を図ります。 また、認知症カフェ支援など認知症高齢者や その家族、地域住民等を支援します。	介護特会
	16 認知症初期集中 支援推進事業	10,044	認知症高齢者とその家族への初期支援を 集中的に行うためのチームを設置し、早期診断・ 対応に向けて支援します。	介護特会
	17 認知症サポーター養成 等事業	637	認知症サポーター養成講座及びキャラバンメイト (講師)養成等を充実し、認知症理解の促進・啓発 を進めます。	介護特会
	18 認知症高齢者見守り 事業	985	専用QRコードを活用し、徘徊等により保護された 認知症高齢者の身元が早期に判明できる体制を 整備します。	介護特会
	19 市民後見推進事業	5,084	権利擁護センターにおいて、認知症高齢者等の 権利擁護や市民後見人支援体制の充実を推進 します。	健康福祉
	20 高齢者虐待防止事業	209	高齢者に対する虐待の早期発見・対応のため、 関係機関とのネットワークを強化します。	健康福祉
	21 介護マンパワー アップ支援事業	600	資格取得など職員の人材育成に積極的な介護 事業所を支援し、介護職場のキャリアアップを促進 します。	健康福祉



	事業名	予算額 千円	説明	担当部
	22 軽費老人ホーム補助	211,328	軽費老人ホーム(A型・ケアハウス)における利用者負担減額を補助します。	健康福祉
	23 地域優良賃貸住宅供給促進事業	17,633	中心市街地の人口拡大を図るため、高齢者を対象とした民間による地域優良賃貸住宅に対し、家賃の一部を補助します。(43戸)	建設
	24 生活困窮者自立相談支援事業	20,490	生活困窮者が自立するための生活相談や住居確保給付金の支給、就労相談、ホームレスの実態調査などを実施します。	健康福祉
○	25 障害者自立支援事業	3,881,282	居宅介護や生活介護、就労支援等の事業を実施し、障がい者の日常生活と社会生活を支援します。 また、障がい者の就労定着に向けた支援を行います。	健康福祉
	26 自立支援医療	286,181	障がい児・者の障がいの改善や機能を維持するため、医療費の全額または一部を助成します。	健康福祉
○	27 地域生活支援事業	315,374	障がい者の相談支援や移動支援、日常生活用具の給付事業を実施するほか、基幹相談支援センターを設置・運営し、地域の相談支援体制の充実を図ります。 また、 <u>手話通訳者等養成講座や手話奉仕員の派遣など、手話言語条例に基づく各種事業を実施</u> します。	健康福祉
○	28 こども発達支援センター事業	144,223	発達障がいや、発達に心配のある児童に対し発達相談を行います。また、肢体不自由児等に対し発達相談及び必要な生活訓練・機能訓練を行います。 また、 <u>保健福祉センター内への移転整備及び現センターの解体工事</u> を行います。	こども未来
	29 児童発達支援事業	567,866	障がい児を対象に、日常生活の基本動作の指導や集団生活への適応訓練等を行います。	健康福祉
	30 軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業	1,200	身体障害者手帳の交付対象としない軽度・中等度の難聴児に対し、補聴器の購入費用の一部を助成します。	こども未来
	31 医療型ショートステイ支援事業	1,794	医療的ケアを要する重度障がい児・者のショートステイ受け入れ体制を整備し、地域における生活支援体制の充実を図ります。	健康福祉



事業名	予算額 千円	説明	担当部
32 障がい者歯科診療事業	6,608	保健福祉センター内で、障がい者を対象に、週2回の歯科診療を実施します。	健康福祉
計	6,307,243		

(3)チャレンジする若者を輩出する教育と人材育成のまち

事業名	予算額 千円	説明	担当部
○ 1 幼・小・中学校耐震補強事業  【3月補正前倒し分】  ※3月補正前倒し分は計には含みません。	653,416  (747,900)	子どもたちの安全・安心な学習環境を確保するため、幼・小・中学校の改築・耐震化を進めます。 ○校舎耐震補強工事及び一体的改修工事(4校・7棟) 荒井小、飯坂小、大鳥中、西信中  (荒井小) 全体事業費(継続費分) 190,500千円 H29 76,200千円 H30 - H31 114,300千円  (飯坂小) 全体事業費(継続費分) 215,000千円 H29 86,000千円 H30 - H31 129,000千円  (大鳥中) 全体事業費(継続費分) 260,000千円 H29 104,000千円 H30 - H31 136,300千円 H32 19,700千円  (西信中) 全体事業費(継続費分) 260,000千円 H29 104,000千円 H30 - H31 156,000千円  ○屋内運動場耐震補強工事及び一体的改修工事(9校・9棟) 岡山小、飯坂小、矢野目小、鳥川小、北沢又小、福三小、蓬萊小、笹谷小、吾妻中 ※すべて3月補正に前倒しします。  ○園舎・屋内運動場耐震補強設計(7校園・7棟) 笹谷幼、福二小、三河台小、福三中、渡利中、蓬萊中、平野中 (福二小、三河台小) 全体事業費(継続費分) 23,400千円 H30 9,360千円 H31 14,040千円 (福三中、渡利中、蓬萊中、平野中) 全体事業費(継続費分) 43,000千円 H30 17,200千円 H31 25,800千円	教育委員会





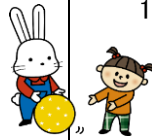
	事業名	予算額 千円	説明	担当部
○	2 学校トイレ洋式化改修事業	222,220	小学校等のトイレ洋式化改修事業を進め、子どもたちの学習環境の改善を図ります。 H31は小学校で400基の洋式化改修工事を実施します。	教育委員会
◎	3 ICT整備関連事業	603,270	新学習指導要領におけるプログラミング教育を推進するため、小・中・養護学校へのタブレット端末の配置や無線LAN環境の整備等を進めるとともに、教職員を対象とした研修を実施します。	教育委員会
○	4 語学指導を行う外国青年招致事業	82,254	小中学校へ派遣する外国人青年(ALT)を増員し、小学校における外国語教育のさらなる充実を図ります。 (H30:14名 ⇒ H31:16名)	教育委員会
○	5 外国語活動支援事業	9,388	外国語活動支援協力員(EAA)18名程度を派遣し、小学校において、外国語や外国の文化・生活についての学習を実施します。	教育委員会
○	6 外国語教育推進事業	500	新学習指導要領に対応した外国語教育の充実を図るため、教員研修会の開催や外国語教育推進資料の作成、英語連接推進モデル地区の指定による英語教育を実施します。	教育委員会
	7 幼・保・小・中学校 接続推進事業	1,089	幼・保・小・中学校の校種間のギャップ解消を図り、各種指導や取り組みを充実させることで、豊かな人間性の育成と確かな学力の定着を図ります。	教育委員会
◎	8 海外チャレンジ応援事業	5,250	海外での研修等にチャレンジする中高生の自主的な学びを支援するため、その費用の一部を助成します。	教育委員会
◎	9 頑張るふくしまっ子 復興夢応援基金事業	2,000	全国大会等で優秀な成績をおさめた市内の小・中学校に対し、さらなる学校活動の推進に必要な備品支給等の支援を実施します。	教育委員会
	10 中学生ドリーム アップ事業	10,478	中学校2年生を対象とした職場体験活動を実施するとともに、1年生の事前学習、3年生の事後指導を充実させ、望ましい勤労観・職業観を育みます。	教育委員会
	11 国際交流事業	2,600	市国際交流協会が実施する市民と市内在住外国人との交流活動に対し補助します。	市民安全



	事業名	予算額 千円	説明	担当部
	12 いじめ・不登校防止等対策推進事業	3,500	学習指導等を行う生徒支援教員をモデル的に配置し、別室登校生徒を支援します。 また、いじめ防止のリーフレットを作成し、配布します。	教育委員会
	13 児童生徒学校復帰支援事業	780	不登校の小・中学生が通学する「ふれあい教室」を運営するほか、児童・生徒や保護者の相談に対応し、学校復帰を支援します。	教育委員会
	14 子どもハートサポート事業	6,310	子どもの不登校やいじめ、問題行動等にきめ細かく対応するため、県がスクールカウンセラーを配置していない小学校に相談員を配置し、学校生活をサポートします。	教育委員会
	15 心のケア推進事業	24,836	スクールカウンセラーを配置して児童・生徒のカウンセリングやこころの授業などを実施し、心のケアを推進します。	教育委員会
	16 スクールソーシャルワーカー緊急派遣事業	9,154	関係機関との連携・調整を行うスクールソーシャルワーカーを3名配置し、子どもや保護者の心のケアの一層の充実を図ります。	教育委員会
○	17 子どもの読書活動推進事業	2,031	子どもの読書活動を推進するため、4ヵ月健診の際に絵本をプレゼントするとともに、司書によるアドバイスを実施します。 また、中学・高校生のビブリオバトルの開催や小・中学生へ読書手帳を配付します。	教育委員会
	18 図書館サービスの充実	21,048	本館、西ロライブラリー、子どもライブラリー及び各学習センター図書室の資料等充実を図ります。	教育委員会
○	19 学校図書館支援事業	22,469	子どもの読書活動を推進するため、学校司書を配置し、学校図書館の機能充実を進めます。 (H30:14名 ⇒ H31:17名)	教育委員会
	20 放課後児童クラブ関連			
○	(1) 放課後児童健全育成事業	549,107	放課後児童クラブを運営し、児童の健全育成を図ります。 (H30:73クラブ ⇒ H31:81クラブ)	こども未来
	(2) 放課後児童クラブ家賃補助	18,184	放課後児童クラブの運営経費の負担軽減を図るため、家賃月額1/2(上限4万円)を補助します。	こども未来



	事業名	予算額 千円	説明	担当部
	21 「こころの劇場」鑑賞事業	2,600	劇団四季の協力のもと、小学6年生に質の高いミュージカルを鑑賞する機会を提供し、情操教育の充実を図ります。	教育委員会
	22 地域における子どもの居場所づくり支援事業	3,000	地域の子どもの居場所づくり活動を支援するため、バックアップ本部でアドバイスや研修等を行います。	こども未来
	23 ユースプレイス自立支援事業	3,500	ひきこもりやニート等の若者が自立し、健全な社会生活を営むために、ユースプレイス(若者の居場所)を設置します。	こども未来
	24 子どもの学習・生活支援事業	1,989	学習環境が整わない生活困窮世帯の中学生を対象に、学びの機会・場所を提供し、学習支援員による学習援助等の支援を行います。	健康福祉
○	25 福島養護学校校舎等改築事業	778,000	耐震性の確保及びバリアフリー化を図るため、校舎等改築に向けた改修工事等を実施します。 全体事業費(継続費分) 2,889,700千円 H31 588,880千円 H32 2,300,820千円	教育委員会
◎	26 松陵中学校校舎等改築事業	19,700	耐震性の確保及び老朽化の改善を図るため、校舎等改築に向けた用地測量及び基本計画を策定します。	教育委員会
○	27 特別支援教育推進事業	139,946	肢体不自由やADHD(注意欠陥多動性障がい)、LD(学習障がい)等の児童生徒の学習を支援するため、特別支援教育協力員及び支援員を配置します。 (H30:78名 ⇒ H31:82名)	こども未来 教育委員会
	28 CAP(子どもたちへの暴力防止プログラム)事業補助	150	子どもを暴力から守るため、人権教育・暴力防止プログラム「CAP」を取り入れた学習会等を実施する団体に対し、費用の一部を補助します。	教育委員会
	29 ずっと福島市応援プロジェクト事業	2,310	大学生を対象に、企業訪問や観光地・文化施設等へのフィールドワークを実施し、本市の魅力を再確認することにより、若者の定住・定着の意識向上を図ります。	市民安全
	30 就職支援相談窓口事業	19,000	就職支援相談窓口を設置し、個別相談や求人情報の提供などにより、求職者と企業のマッチングを図ります。	商工観光





	事業名	予算額 千円	説明	担当部
	31 若年者 就職支援事業	3,550	高校生を対象とした就職支援事業や大学生等 を対象とした就職準備セミナー、新規学卒者等 を対象とした就職ガイダンスを開催します。	商工観光
	32 介護資格取得支援 事業	2,672	介護資格取得費の助成を行い、介護分野への 就職及び就労定着を支援します。	商工観光
	33 雇用促進 サポート事業	3,550	教育機関と連携して仕事体験事業を実施し、 地元就職やUターン促進を図ります。	商工観光
○	34 渡利学習センター 整備	374,050	地域の生涯学習環境を充実させるため、整備に 向けた建設工事を実施します。 全体事業費(継続費分) 707,900千円 H31 374,000千円 H32 333,900千円	教育委員会
	35 学校支援推進事業	820	各学習センターに学校支援地域本部を設置し、 地域住民ボランティアを活用した様々な学校支援 活動を通して、子どもたちの学びの支援と地域の 教育力向上に取り組みます。	教育委員会
○	36 福島大学農学系 教育研究組織設置 支援・連携事業	612,578	平成31年4月開設の福島大学食農学類の施設 整備費用を支援するとともに、食農学類の取組みの 成果が地域の産業に還元されるよう、連携協力を 進めます。	農政
	計	4,217,299		

(4)生涯にわたり健康で幸福を実感できるまち

	事業名	予算額 千円	説明	担当部
	1 健都ふくしま創造事業			
◎	(1) 健都ふくしま創造市民 会議の開催	386	市民団体や企業、有識者等で構成する 「健都ふくしま創造市民会議」を立ち上げ、 市民主体の実効性のある健康づくりを推進します。	健康福祉
○	(2) 受動喫煙対策	1,104	たばこによる健康への影響が生じないよう、 <u>受動 喫煙防止対策</u> に関する講演会の開催や、空気の きれいな施設・車両認定等により、受動喫煙の防止 対策や禁煙支援に取り組みます。	健康福祉
	(3) 食育の推進	869	食育推進計画に基づき、家庭や地域、学校、 生産者など様々な担い手と連携し、食育を推進 します。	健康福祉





	事業名	予算額 千円	説明	担当部
◎	(4) 歯と口腔の健康づくり	1,176	新たに制定した「福島市歯と口腔の健康づくり推進条例」に基づき、総合的かつ効果的に歯と口腔の健康づくりを推進します。 	健康福祉
	(5) 子どものむし歯予防対策	2,625	保育施設や幼稚園、小学校等でフッ化物による洗口事業を行い、子どものむし歯予防に取り組みます。	健康福祉 教育委員会
	(6) 地域の健康づくり	1,317	本市の健康課題の解決のため、地域住民が主体となった地区単位の健康づくりを推進し、健康なまちづくりを目指します。	健康福祉
○	(7) 職場の健康づくり	410	事業所や関係機関と連携し、 <u>(仮称)職場の健康づくり推進協議会等</u> により、 <u>働く世代の健康づくり</u> に取り組みます。	健康福祉
○	2 がん検診推進事業	13,363	がん検診の自己負担一部無料化やピンクリボンキャンペーンを推進し、受診率の向上を図ります。 また、市独自の対策強化として、受診再勧奨の対象者を拡大します。(胃:50歳、大腸:65歳、乳:60歳、子宮頸:32歳)	健康福祉
○	3 国民健康保険 特定健康診査等 事業	26,686	レセプトや特定健診のデータを活用し、生活習慣病の早期発見や重症化予防に取り組み、被保険者の健康保持増進を図ります。 また、 <u>健診項目に血清尿酸検査を追加</u> します。	国保特会
◎	4 骨髄移植ドナー助成 事業	700	 骨髄移植ドナーとなった方に対し、奨励金を交付し、ドナーとその家族の負担を軽減します。	健康福祉
○	5 定期予防接種事業	720,519	B型肝炎ワクチンや高齢者インフルエンザワクチンなど、乳幼児・就学児や高齢者等の予防接種を実施します。 また、 <u>風しんの感染拡大防止の追加対策として、39～56歳の男性の抗体検査及び予防接種</u> を実施します。	健康福祉
	6 任意予防接種 助成事業	47,190	大人の風しんワクチン及び乳児のロタワクチンの接種費用を一部助成します。	健康福祉
	7 休日在宅当番医制 運営事業	5,196	日・祝日、年末年始の昼間における初期医療体制を確保するため、当番医制を実施します。	健康福祉
	8 休日救急歯科 診療所運営事業	14,658	保健福祉センター内で、日・祝日、年末年始の午前9時から午後5時まで開設します。	健康福祉

	事業名	予算額 千円	説明	担当部
	9 夜間急病診療所 運営事業	208,790	内科、外科、小児科を午後7時から翌朝8時まで (小児科は午後10時まで)開設します。	健康福祉
	10 地域医療確保対策	395,934	市内救急告示病院等11病院で、夜間、土曜日 の午後、日・祝日及び年末年始の日中における 二次救急医療体制を確保するための費用を補助 します。 また、医師・看護師の確保対策事業を実施し、 地域医療の充実強化を図ります。	健康福祉
◎	11 医療安全支援センター 事業	2,722	医療安全支援センターを設置し、市民からの 医療に関する相談等に対応します。	健康福祉
	12 新斎場整備事業	465,167	新斎場をH31年度早期に供用開始するとともに、 現斎場を解体撤去し、駐車場等を整備します。 (建設工事) 全体事業費(継続費分) 3,228,100千円 H29 1,116,593千円 H30 2,105,837千円 H31 5,670千円  (造成工事) 全体事業費(継続費分) 540,000千円 H31 324,000千円 H32 216,000千円	環境
◎	13 らくらく窓口証明書 交付サービス	136	本庁窓口マイナンバーカードで各種証明書の 申請が可能となるタブレット端末を設置し、申請手 続きの簡素化を図ります。	市民安全
○	14 ももりん記念日 祝福事業	2,223	オリジナル婚姻届と出生届を作成し、夫婦となった 二人や新たな生命の誕生を祝福します。 また、婚姻届時には、記念品の贈呈とスマート フォンアプリを利用した記念撮影ができるサービス を開始します。	市民安全
	15 出会いの場創出事業	2,915	男女の出会いの場の提供や、出会い結婚相談 事業等により、結婚に対する意識の向上を図る とともに、定住促進・人口増加に取り組みます。	市民安全
	16 ふくしま定住推進 事業	2,725	本市に移住・定住を希望する方のニーズ把握に 努めるとともに、本市の魅力や情報を発信してい きます。	市民安全



	事業名	予算額 千円	説明	担当部
	17 地域おこし協力隊活用事業	10,632	本市において地域おこし協力隊として活躍する人材への支援を継続するとともに、新たな人材を募集し、活動を通じて地域力の維持・強化を図りながら定住定着につなげます。	市民安全
	18 都市間交流推進事業	2,158	友好都市協定を締結した東京都荒川区との交流や、詩や祭りを通じた山口市との交流などにより、本市のさらなる魅力発信に取り組みます。	市民安全
	19 多世帯同居・近居支援事業	4,550	県が実施する親子三世帯が同居・近居するための住宅取得費用等助成事業に市独自で上乗せをし、定住人口の拡大につなげます。	市民安全
◎	20 UIJターン移住支援事業	12,960	東京23区の在住者等が本市へ転入し、県のマッチングサイトに掲載の中小企業へ就職した場合に補助金を交付します。	市民安全
◎	21 多文化共生のまち福島推進事業	6,000	本市在住の外国人等が安心して暮らせるまちづくりを推進し、多様な文化・習慣などを認め合う多文化共生社会の実現を目指します。	市民安全
	計	1,953,111		

(5) 災害・放射能からの安全・安心なまち

	事業名	予算額 千円	説明	担当部
	1 総合防災訓練事業 	1,000	大規模な災害を想定し、自主防災組織、企業、ボランティア団体を含めた地域住民の参加のもと、総合的な防災訓練を実施します。	市民安全
	2 地域防災訓練事業	1,440	町内会、消防団、自主防災組織等が一体となった市民参加型の各地域防災訓練を支援します。	市民安全
	3 避難所誘導標識等設置事業	5,700	避難場所や避難所に、対応する災害種別や多言語を表示した標識の設置を進め、災害時における迅速かつ的確な避難の確保と防災意識の向上を図ります。	市民安全
	【3月補正前倒し分】  ※3月補正前倒し分は計には含みません。	(15,882)	※費用の一部を3月補正に前倒します。  	

	事業名	予算額 千円	説明	担当部
	4 避難所開設運営事業	5,200	地域防災計画に基づき、災害発生時の非常用食料、粉ミルク等を備蓄します。	市民安全
	5 災害時要援護者支援事業	4,688	災害時要援護者に関する情報を地域支援者等と共有し、効率的な避難支援体制を構築します。	健康福祉
◎	6 防災情報伝達システム検討事業	802	有効な防災情報の伝達システムや体制について検討するため、検討会等を開催します。	市民安全
◎	7 福島消防署清水分署整備事業	21,700	福島消防署清水分署の改築に向けて、地質調査・測量設計等を行います。	消防本部
◎	8 消防救急デジタル無線更新整備事業	179,840	消防救急デジタル無線を更新し、消防力のさらなる充実強化と、自然災害時の対応力及び復旧力の向上等を図ります。	消防本部
◎	9 消防団加入促進事業	3,289	消防団のPR動画やチラシ、ポスターを作成し、特に女性や若者をターゲットに消防団への加入促進を図ります。	消防本部
	10 消防団運営育成助成事業	12,052	消防団の円滑な運営と事業の活性化を図るため、各方面隊、分団に対し助成金を交付します。	消防本部
	11 消防団被服・安全対策装備品整備事業	10,945	消防団員の活動中の安全を確保し、公務災害防止を図るため、被服の整備とともに防塵マスクやヘッドライトを計画的に配備します。	消防本部
	12 防火パトロール特別対策事業	1,800	火災予防の徹底を図るため、分団ごとの防火パトロールを支援します。	消防本部
◎	13 ブロック塀等撤去助成事業	3,000	ブロック塀等の倒壊による事故を未然に防止するため、個人が実施する撤去費用の一部を助成します。	都市政策
	14 建築物耐震改修促進事業	603,128	耐震診断が完了した民間施設の改修工事等費用を補助し、耐震化の促進を図ります。	都市政策
	15 木造住宅耐震改修促進事業	15,486	昭和56年5月以前に建てられた木造住宅の耐震診断・改修工事費用を補助し、耐震化の促進を図ります。	都市政策






	事業名	予算額 千円	説明	担当部
◎	16 洪水ハザードマップ活用事業	720	水害の危険性を実感でき、迅速な避難を促すため、洪水の浸水深や避難行動に関する情報を表示する標識をまちなかに設置します。	建設
	【3月補正前倒し分】	(31,792)	※費用の一部を3月補正に前倒します。	
	※3月補正前倒し分は計には含みません。			
◎	17 内水ハザードマップ作成事業	40,000	局地的な集中豪雨等の発生時における地域住民の自助・共助を支えるため、浸水想定箇所や避難に関する情報を掲載した内水ハザードマップを作成します。	下水道事業
◎	18 吾妻山火山防災マップ作成事業	(3,975)	吾妻山火山防災マップを改訂・作成し、市民へ配布します。	市民安全
	※3月補正前倒し分は計には含みません。		※すべて3月補正に前倒します。	
	19 河川整備事業	54,500	集中豪雨やゲリラ豪雨による浸水被害対策のため、普通河川や排水路の整備を行います。	建設
	20 防火水槽・消火栓等整備事業	59,456	市民の安全・安心確保のため、消防水利を整備します。 防火水槽 新設2基・簡易有蓋化1基 消火栓 新設6基・設置替36基	消防本部
	21 交通安全対策			
	(1) 交通安全教育推進事業	8,507	交通安全教室等を実施し、幼児から高齢者まで幅広い年齢で、交通安全意識の醸成を図ります。	市民安全
	(2) 通学路等安全対策事業	40,342	小学校の通学路等の危険箇所について、交通安全施設を整備し、児童等の安全を確保します。	建設 市民安全
	(3) 交通安全施設の整備	87,000	歩道の段差解消や路肩整備、地下道の冠水警告表示板の設置等を実施します。	建設
	22 街路灯LED化推進事業	38,982	既存の街路灯をLEDに転換し、省エネルギー化を推進します。	建設
	23 除去土壌搬出等推進事業	19,000,000	仮置場への除去土壌の搬出を進め、現場保管の早期解消等を図るとともに、中間貯蔵施設への輸送が完了した仮置場の原状回復及び返還を順次進めます。	環境



事業名	予算額 千円	説明	担当部
24 ため池等放射性物質の除去	393,000	農作物の安全確保と営農者の不安解消を図るため、農業用ため池の放射性物質対策を行います。	農政
25 環境放射線量測定事業	40,415	市内72カ所の空間線量率を測定し、市民に分かりやすく公表します。	環境 都市政策
26 放射線量マップ作成	11,190	「全市放射線量測定マップ」を作成し、町内会班回覧や希望者への配布などにより、市民に分かりやすく公表します。	環境
27 農産物・食品等放射能測定事業	80,290	市内19カ所の測定所において、食品等の放射能測定を引き続き実施します。	環境
28 給食まるごと検査事業	55,669	安全で安心な給食を提供するため、保育施設や学校で使用する食材のモニタリング検査を毎日実施し、速やかに公表します。	こども未来 教育委員会
29 地域の恵み安全対策協議会運営補助	5,700	出荷・販売を目的とする野菜やくだものなど、園芸品目の放射性物質検査を支援します。	農政
30 放射性物質吸収抑制対策事業	52,995	果樹、牧草等への放射性物質の移行を抑制するため、カリ肥料の散布や改植、牧草地の草地更新を支援します。	農政
31 営農再開支援事業	724	水稻の作付再開に向けた雑草の防除や畦畔の修復等の取り組みを支援します。	農政
32 放射線健康管理事業	70,048	市で所有する2台の移動式ホールボディカウンタを活用するとともに、医療機関等と連携を図りながら、内部被ばく検査を実施します。	健康福祉
33 妊婦・子ども等の放射線対策事業	41,614	バッジ式個人線量計による外部被ばく測定を実施するとともに、電子式積算線量計の貸し出しを行います。	健康福祉
34 一般健康診査対象者拡大事業	1,885	県で実施する健診に市独自の検査項目を追加し、市民の健康不安の解消を図ります。	健康福祉
35 放射線と市民の健康講座開催	3,100	医師による講演会や体験型学習会、出前講座等を開催し、放射線に関する正しい知識の普及と健康不安の軽減を図ります。	健康福祉

事業名	予算額 千円	説明	担当部
36 放射線相談支援事業	2,622	相談員を配置し、市民へ放射線に関する正しい知識や情報を提供します。	健康福祉
37 放射線対策ニュース作成	2,384	「放射線対策ニュース」を発行し、除去土壌の搬出状況や健康管理など、放射線対策に関する情報を市民に分かりやすくお知らせします。	政策調整
38 市政だより等作成	2,275	広域避難者や市外への避難者へ市政だより等を配付し、生活支援に関する情報を提供します。	政策調整
39 自主避難者支援事業	760	山形市や米沢市において行政相談窓口を開設するとともに、各県で開催される交流会に参加し、避難者生活不安の解消を図ります。	市民安全
40 インフラ施設等長寿命化対策			
(1) 道路ストック総点検事業	12,000	予防保全修繕による市道の長寿命化と修繕コストの縮減を図るため、総点検を実施します。	建設
(2) 橋りょうの長寿命化推進事業	665,000	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、定期点検及び耐震化工事、延命化工事を実施します。	建設
(3) 市営住宅ストック総合改善事業	650,000	市営住宅長寿命化計画に基づき、改修工事等を実施します。	建設
(4) 公園施設長寿命化対策支援事業	38,000	公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化施設の更新を行います。	都市政策
計	22,329,248		




## 2 産業・まちに活力ふくしま

### (1) 地域内の循環・連携による経済の活性化

	事業名	予算額 千円	説明	担当部
◎	1 プレミアム付商品券事業	1,675,000	消費税引き上げが消費に与える影響を緩和するため、低所得者・子育て世帯(0~2歳児)を対象にプレミアム付商品券を発行し、地域における消費の喚起を図ります。	商工観光
○	2 食品加工産業創出事業	1,824	産学官・農商工連携による研究会等を開催するとともに、民間企業が行う製品開発・販売等にかかる経費の一部を補助し、本市の農産物を活用した食品加工産業の振興を目指します。	商工観光
				
	3 医産連携推進事業	23,596	医産連携コーディネーターによるマッチングにより、市内製造業の医療福祉機器分野への進出を促進するとともに、中小企業者が実施する医療福祉機器の製品化や研究開発の費用の一部を補助します。	商工観光
	4 企業立地促進事業	16,113	首都圏等における企業訪問や企業立地セミナーの開催、各種企業展示会への出展、業界紙等への広告掲載などにより、本市の魅力と立地優位性をアピールし、立地促進を図ります。	商工観光
	5 産学連携推進事業	14,520	近隣大学との交流事業や、産学連携による共同研究等の支援を行うとともに、新たなビジネスの創出を図るため、「ふくしまものづくり企業交流会」を開催します。	商工観光
	6 学校給食自給率拡大事業	9,303	地産地消を推進するため、学校給食における本市産米コシヒカリや野菜の購入費の一部を補助します。	農政
	計	1,740,356		

### (2) 新しい連携軸が交差する拠点としての活性化

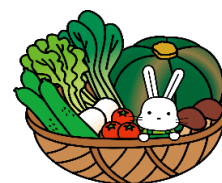
	事業名	予算額 千円	説明	担当部
○	1 新工業団地整備事業	555,580	福島大笹生ICに隣接する「福島おおぞうインター工業団地」の整備を進めます。 H31は造成工事、予約販売等を行います。 全体事業費(継続費分) 1,041,000千円 H30 520,500千円 H31 520,500千円	工団特会
○	2 地域振興施設「道の駅」整備事業	508,100	福島大笹生IC周辺に「道の駅」の整備を進めます。 H31は、 <u>用地の取得や管理運営手法等の協議検討</u> を行います。	商工観光 建設

	事業名	予算額	説明	担当部
		千円		
○	3 東北中央自動車道建設促進	760	福島・相馬間の東北中央自動車道の建設を促進するため、関係機関と連携して要望活動等を行います。 また、本市において「とうほく街道会議交流会」を開催します。	建設 
○	4 烏川大笹生線整備	45,000	福島大笹生ICと市街地を結ぶ幹線道路(長さ820m)の拡幅工事を進めます。 H31は、用地補償と道路改良工を行います。	建設
	5 国県道路整備促進	5,333	国直轄で実施される国道13号福島西道路Ⅱ期事業の推進にあたり、国と連携して用地補償の交渉等を行います。	建設
	計	1,114,773		

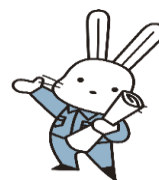
### (3) 農業・中小企業等の振興

	事業名	予算額	説明	担当部
		千円		
○	1 風評対策(農産物)	10,914	福島ユナイテッドFCと連携したくだものPRや、首都圏において本市農産物の試食会を実施するなど、本市農産物の安全性を発信し、風評払拭を図ります。	農政
○	2 果実等プロモーション事業	3,030	重点消費地や交流都市へのトップセールス、県等と連携したPR試食販売を積極的に行うなど、本市産くだものを全国に向けてPRし、産地としての知名度アップと消費拡大を図ります。	農政
	3 農地集積支援			
	(1) 農地中間管理事業	5,643	農地中間管理機構を通して農地を貸し付けた農業者に対して協力金を交付し、農地集積を促進します。	農政
	(2) 農地流動化支援事業	5,000	農業経営規模の拡大と農用地の有効活用を図るため、新たに農地を取得または賃借した農業者へ支援金を交付します。	農政
◎	4 第三者認証GAP取得等促進事業	954	農業における食品の安全・環境保全・労働安全等の持続的可能性を確保するため、より良い農業の証であるGAP認証取得を促進します。	農政
	5 農業経営安定化支援事業	1,476	認定農業者の果樹共済掛金の一部を助成します。	農政

事業名	予算額 千円	説明	担当部
6 担い手の確保			
(1) 新規就農支援事業	400	実習体験講座や農業経営講演会を開催し、新規就農者の確保や育成、定着を図ります。	農政
(2) 農業次世代人材育成事業	30,800	新規就農時のリスクを軽減させ、就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、新たに独立して農業経営を行おうとする青年農業者に対し、資金を交付します。	農政
◎ (3) 農業就業拡大推進事業	3,740	担い手を確保するため、兼業就農者や親元就農者等に研修費用や就農時初期費用などの一部を助成します。	農政
7 農業被害等対策事業			
(1) 有害鳥獣被害対策協議会等負担金	20,520	関係機関・団体と連携し、有害鳥獣による農作物被害の防止を図るため、鳥獣被害対策専門員の活動、捕獲資機材の購入、調査業務等の費用の一部を負担します。	農政
○ (2) イノシシ捕獲対策事業	17,250	イノシシによる農作物被害の軽減を図るため、捕獲頭数の増加に対応し、補助金を増額します。(H30:600頭 ⇒ H31:750頭)	農政
○ (3) ニホンザル対策強化事業	2,000	ニホンザルによる農作物被害の軽減を図るため、 <u>パトロール活動を強化</u> し、被害の未然防止を図ります。	農政
○ (4) 電気柵・緩衝帯整備事業	5,400	野生鳥獣から農作物を守るため、電気柵を設置する農業者に設置費用の一部を助成します。 また、野生鳥獣の侵入防止に効果がある <u>緩衝帯を整備する地域農業者等に費用の一部を助成</u> します。	農政
(5) 鳥獣被害対策実施隊	2,000	猟友会員等を鳥獣被害対策実施隊員に任命し、イノシシ等の捕獲・駆除、追い払い活動を行います。	農政
8 地域6次産業化推進事業	3,501	農業者と加工・流通事業者等とのマッチング交流会などを実施するとともに、販売・流通等について専門的な知識を持つ6次化アドバイザーや6次化相談員を配置し、地域ぐるみでの6次化をさらに推進します。	農政



事業名	予算額	説明	担当部
	千円		
9 農村活性化事業	138	市内の親子を対象に農業体験・料理教室を実施し、農業への関心と理解を深め、食育と地産地消の推進を図ります。 また、農業活性化のための意見交換会等を開催します。	農業委員会
10 気候変動対策事業			
◎ (1) 果樹品質向上対策事業	2,000	温暖化による気候の変動に対応し、果樹の品質確保を図るため、果樹栽培施設等を導入・更新する果樹農家に対し、経費の一部を助成します。	農政
◎ (2) 樹園地渇水対策整備事業	1,000	用水設備が未整備の樹園地において、高温・少雨などの気候変動に備え、井戸掘削等を行う果樹農家に対し、経費の一部を助成します。	農政
◎ (3) 農作物病害虫防除事業	5,000	モモせん孔細菌病などの果樹の病害虫防除薬剤購入費の一部を助成します。	農政
11 畜産振興事業			
(1) 黒毛和種繁殖基礎雌牛導入事業	1,250	優良な繁殖雌牛を導入する畜産農家に対して費用の一部を助成します。	農政
(2) 酪農ヘルパー推進事業	1,000	酪農家の労働負担を軽減するため、酪農ヘルパーの利用料金の一部を助成します。	農政
12 多面的機能支払対策事業	168,438	農業・農村の多面的機能を維持・発揮するため、共同活動を実施する団体に対して交付金を交付します。	農政
13 農道、水路、ため池等の整備	28,000	各地区の農業用施設等の整備を進めます。	農政
14 堰、水路の整備(県営)	13,466	老朽化した農業用施設整備等の工事費の一部を負担します。 栗本堰(大笹生ほか)、西根堰(飯坂町湯野ほか) 東根堰(渡利ほか)、岩堰地区(松川)	農政



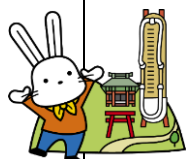
	事業名	予算額	説明	担当部
	15 防災ダムの整備 (県営)	千円 818	県が進める大笹生ダムの更新事業の事業費の一部を負担します。	農政
	【3月補正前倒し分】	(14,743)	※負担金の一部を3月補正に前倒します。	
	※3月補正前倒し分は計には含みません。			
	16 松林健全化 整備事業	14,400	松くい虫等の駆除を実施します。	農政
◎	17 森林環境整備事業 	24,316	森林を適切に管理するため、森林所有者に対する意向調査や境界の明確化を実施します。また、森林や林業を身近なものにするための普及事業を行います。	農政
	18 ふくしま森林再生 事業	179,505	原子力災害による停滞が懸念される民有林の整備を計画的に進めます。	農政
◎	19 林業専用道整備 事業	87,000	原子力災害により放置され災害の危険が増した森林において林業専用道を整備し、持続可能な林業経営の実現と自然環境を守ります。	農政
	20 新事業創出・中小 企業支援事業	5,025	新製品・新技術の開発や販路拡大、人材育成に取り組む市内中小企業に対し補助します。	商工観光
	21 中小企業 振興預託金	1,470,000	中小企業に対する一般・小口融資及び組織資金融資の原資を金融機関に預託します。	商工観光
	22 中小企業 信用保証料補助	36,500	「中小企業一般融資」及び「県起業家支援保証制度」利用者に、信用保証料の一部を補助します。	商工観光
	23 商売力向上対策 事業	700	地域の中・小規模商店を対象とした商売力向上の実践的講座の開催を支援します。	商工観光
	24 中小企業 振興助成事業	1,500	中小企業者等の売上増加・販路拡大に対し補助します。	商工観光
	25 起業者育成事業	250	起業者を育成していくため、大学生等を対象としたセミナーの開催や、ビジネスアイデアの実現に向けた支援を行います。	商工観光



事業名	予算額	説明	担当部
26 新規創業者等支援事業	7,207	中心市街地をはじめとする各商店街の活性化を図るため、空き店舗の賃借料を補助し、新規創業者等の出店を支援するとともに、経営指導を実施します。	商工観光
27 創業応援利子補給事業	2,472	新規創業者が創業融資を受けた際の利子を、1年間(中心市街地は2年間)全額補助します。	商工観光
28 事業承継対策事業	200	事業主の早期の後継者対策を促し、中小企業の円滑な事業承継を図るため、セミナーを開催します。	商工観光
計	2,162,813		

#### (4)観光・コンベンションの推進

事業名	予算額	説明	担当部
○ 1 観光コンベンション協会補助	88,890	観光振興の中核組織である「福島市観光コンベンション協会」に対して補助を行い、推進体制の強化を図ります。	商工観光
○ 2 東北六市連携事業	260,986	「東北絆まつり2019福島」を盛大に開催し、本市の力強い復興を国内外へ発信します。 また、東北六市共同で首都圏及び海外での観光プロモーション事業等を実施します。	商工観光
◎ 3 わらじまつりPR隊活動事業	1,400	福島わらじまつり50回の節目にリニューアルしたわらじおどりをアピールするため、わらじまつりPR隊を結成し、元気なふくしまを県内外へ広く発信します。	商工観光
○ 4 インバウンド推進事業	60,329	民間事業者を対象としたコミュニケーション力向上事業や観光交流拠点等におけるWi-Fi環境や多言語表記の整備、米沢市と連携した吾妻山登山ルート <sup>1</sup> の整備等を進め、インバウンド受入体制の整備を強化します。	商工観光
○ 5 公共施設トイレ洋式化改修事業	54,000	公共施設のトイレ洋式化を進め、高齢者や障がい者の利便性向上、外国人旅行者の受け入れ体制強化を図ります。 H31は72基の洋式化改修を目指します。	商工観光



	事業名	予算額 千円	説明	担当部
	6 ふくしま元気・ふるさと応援事業	36,500	元気ふくしま・ふるさと寄附金(ふるさと納税)の寄附者に、本市の特産品などを返礼品として贈呈し、本市の魅力発信や地域ブランドの知名度向上、観光振興や地域産業の活性化を図ります。	商工観光
◎	7 土湯温泉まちおこしセンター・観光交流センター運営	75,629	都市再生整備計画事業を活用して整備を進めてきた土湯温泉まちおこしセンター及び観光交流センターをオープンし、温泉観光地としての魅力向上と賑わいの創出を図ります。	商工観光
◎	8 ふくしまプロモーション事業	4,581	首都圏の電車内でプロモーションCMを放送し、本市の魅力や情報を発信します。	政策調整
○	9 魅力発信事業	6,114	県や関係団体と連携して首都圏等におけるプロモーション事業を実施するとともに、SNSを活用した情報発信を行い、観光交流人口の拡大を図ります。	商工観光
	10 コンベンション誘致・支援事業	7,680	コンベンションの誘致と支援を推進し、交流人口の拡大と地域の活性化を図ります。	商工観光
	11 春の花見山おもてなし事業	58,510	花見山来訪者のおもてなしのため、シャトルバスの運行や出店環境の整備等を実施します。	商工観光
	12 ふくしま花のまちづくり事業	6,248	福島駅前通りや東西駅前広場にフラワーバスケット等を設置するほか、ガーデニング教室の開催やチャレンジガーデン認定により、市民協働で花のまちづくりをアピールします。	都市政策
	13 温泉地活性化推進事業	21,000	飯坂、土湯、高湯の各温泉地が実施する温泉地活性化事業や、風評払拭のためのイメージアップ事業、PR事業などを支援します。	商工観光
	14 風評対策(観光)	1,034	首都圏等で物産展を開催するほか、イベントへ積極的に参加し、本市の観光・物産を官民一体となってPRすることで、風評払拭を図ります。	商工観光
	計	682,901		



(5)賑わいのまちづくりによる活性化


	事業名	予算額 千円	説 明	担当部
	1 商店街等活性化 イベント推進事業	16,000	中心市街地などの商店街の賑わい創出と地域経済の活性化を図るため、商店街等が実施するイベント経費の一部を補助します。	商工観光
	2 公共交通の活性化			
	(1) バス路線運行維持 対策事業	137,054	日常生活に密着した生活路線バスに対し、赤字補てん等の補助を行います。 また、松川下川崎乗合タクシーを運行します。	都市政策
	(2) 鉄道・バス等公共 交通施設整備補助	24,749	阿武隈急行線及び福島交通飯坂線の安全確保と利便性向上を図るため、設備整備等にかかる費用の一部を助成します。	都市政策
○	3 空家等対策事業	7,918	市の対策計画に基づき、空き家情報の一元管理や空き家の発生予防に関する普及啓発を行います。 また、協定を締結している不動産団体との連携を強化し、新たに「 <u>空き家バンク</u> 」を構築・運用し、空き家の利活用を進めます。	都市政策
◎	4 社会資本整備 推進事業	76,070	福島駅前広場に大型マルチビジョン等を設置し、観光・イベント等の様々な情報を発信することで、中心市街地の活性化と回遊性の向上を図ります。	都市政策
	5 中心市街地活性化 イベント事業	10,000	中心市街地の賑わい創出のため、光のしずくイルミネーション事業や福島駅前元気プロジェクトによる四季のイベント開催等の費用の一部を補助します。	商工観光
	6 街なかぎざわい 創出事業	7,068	チェンバおおまち1階でチャレンジショップを運営するほか、チャレンジショップ入居者に対し、創業するための経営指導を実施します。 また、賑わい創出のためのイベントを開催します。	商工観光
◎	7 街なか商業誘客 事業	550	花見山を訪れた観光客に、中心市街地や市内小売店舗等のPRを行い、市内観光の推進を図るとともに、中心市街地への来街者の増加と活性化を目指します。	商工観光
◎	8 まちなか交流 スペース事業	15,900	市政情報コーナーをリニューアルし、まちなかの賑わいや市民活動の活性化を促進する施設として再活用します。	市民安全



	事業名	予算額 千円	説 明	担当部
	9 借上市営住宅 供給促進事業	113,305	中心市街地において民間が建設した賃貸住宅を、 市が借り上げて市営住宅として供給します。 曾根田地区(7階建25戸) 早稲町地区(10階建40戸) 中町地区(10階建40戸) 新町地区(9階建18戸) 計123戸	建設
	10 道路網の整備			
	(1) 太平寺岡部線 (御山町工区)	127,000	学法福島高校から国道13号までの区間(長さ 450m)の4車線化を進めます。 H31は、用地補償等を行います。	都市政策
	(2) 曾根田町桜木町線 (宮下町工区)	119,100	県庁通りから国道13号までの区間(長さ346m) について拡幅工事を進めます。 H31は、用地補償等を行います。	都市政策
○	(3) 仲間町春日町線	184,500	腰浜町町庭坂線から第二小学校までの区間 (長さ180m)について、拡幅工事を進めます。 H31は、用地補償や道路改良工等を行います。	都市政策
	(4) 入江町桜木町線	4,500	国道4号から渡利本内線までの区間(長さ 500m)について、拡幅工事を進めます。 H31は、建物等調査算定を行います。	都市政策
	(5) 北沢又丸子線 (3工区)	52,000	福島西道路から飯坂街道までの残り区間 (長さ270m)の用地補償等を行います。	建設
	(6) 杉妻町早稲町線	158,800	福島中町郵便局西側からNHK福島放送局 までの区間(長さ240m)について、拡幅工事 を進めます。 H31は、用地補償等を行います。	都市政策
	(7) 樺沢線	26,000	飯野地区東部と川俣町を結ぶ幹線道路の 拡幅工事と歩道設置を進めます。	建設
	計	1,080,514		

#### (6)オリンピック・パラリンピックを契機としたまちづくりの推進

	事業名	予算額 千円	説 明	担当部
○	1 東京2020オリンピ ック・パラリンピック 推進事業	88,000	<u>野球・ソフトボール競技開催へ向けた準備を 進めるとともに、事前キャンプ誘致事業やホスト タウンとの交流事業等を実施し、機運の醸成を 図ります。</u>	政策調整
	2 スポーツホームタウン にぎわい創出事業	15,000	福島ユナイテッドFCの支援や、子どもから大人 までを対象としたサッカー交流大会の実施、福島 ガイドの作成などにより、スポーツを通じた賑わい 創出と交流人口の拡大を図ります。	商工観光

	事業名	予算額 千円	説明	担当部
	3 オリンピック・パラリンピックを契機としたまちづくり			
◎	(1) おもてなし道路整備事業	108,300	競技会場周辺道路の舗装修繕、道路標識多言語化等を実施します。	建設
◎	(2) ふくしまの顔づくり事業	33,000	福島駅周辺の案内サイン等の整備を実施します。	都市政策
◎	(3) 福島駅西口周辺バリアフリー整備事業	17,800	福島駅西口周辺において、点字ブロックの設置や歩道の段差解消を実施します。	建設 都市政策
	4 市民体育祭等開催	7,125	スポーツ人口の拡大と競技力向上を図るため、市民体育祭、健康マラソン大会、家庭バレーボール大会を開催します。	教育委員会
	5 スポーツ選手育成補助	5,910	国際大会・全国大会に出場する選手に対し、激励金を交付します。	教育委員会
○	6 十六沼公園天然芝サッカー場整備事業	111,788	十六沼公園天然芝サッカー場のオープンにより、競技スポーツ振興と競技力向上を図ります。 全体事業費(継続費分) 725,000千円 H29 189,900千円 H30 469,000千円 H31 66,100千円 	教育委員会
◎	7 十六沼公園人工芝サッカー場整備事業	221,430	十六沼公園のクレーコートを人工芝サッカー場へリニューアルし、競技スポーツ振興と競技力向上を図ります。	教育委員会
○	8 中央市民プール整備事業	272,600	老朽化等により部分開放となっていた施設の改修工事を実施します。 全体事業費(継続費分) 984,000千円 H31 272,600千円 H32 194,800千円 H33 516,600千円	教育委員会
◎	9 信夫ヶ丘球場整備事業	155,500	信夫ヶ丘球場の改修工事を実施します。 全体事業費(継続費分) 311,000千円 H30 155,500千円 H31 155,500千円	教育委員会
	計	1,036,453		

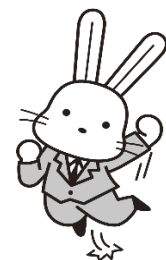
### 3 風格ある県都ふくしま

#### (1)「風格ある県都を目指すまちづくり構想」の実現に向けた事業推進

	事業名	予算額 千円	説明	担当部
◎	1 風格ある県都を目指すまちづくり事業	9,196	「風格ある県都を目指すまちづくり構想」の実現に向け、福島駅前交流・集客拠点施設や新しい市役所本庁舎西棟、図書館の整備について検討を進めます。	政策調整 財務 教育委員会
◎	2 福島駅東口地区市街地再開発事業	271,600	中心市街地の活性化のため、官民連携により、県都ふくしまの顔となる福島駅東口周辺の再開発事業を行います。	都市政策
	計	280,796		

#### (2)連携中枢都市圏構想の推進

	事業名	予算額 千円	説明	担当部
	1 観光圏整備事業	19,200	相馬市、二本松市、伊達市と広域的に連携し、アウトドアメーカーと連携した山岳観光情報の発信や首都圏観光物産イベントの開催、観光パンフレットの作成などにより圏域への誘客促進を図るとともに、「ジャパンエコトラック」認定へ向けた取り組みを展開します。	商工観光
○	2 福島圏域連携強化推進事業	2,000	福島圏域連携推進協議会の構成11市町村における連携事業を推進し、連携中枢都市圏の形成を視野に入れた活力ある圏域の実現を目指します。	政策調整
○	3 福島圏域合同移住セミナー実施事業	1,379	福島圏域の人口減少対策連携事業として、首都圏における合同移住セミナーや福島圏域周遊ツアーを開催します。	市民安全
	計	22,579		



(3)新しい視点での福島駅周辺のまちづくり

	事業名	予算額 千円	説明	担当部
○	1 中心市街地活性化 推進事業	14,297	H27から実施中の第2期基本計画の変更協議や 事後評価等を行い、 <u>第3期目となる基本計画を策定</u> します。	都市政策
◎	2 新浜町地区優良 再開発型優良 建築物等整備事業	137,000	新浜町に建設予定の都市福利施設兼分譲住宅 の整備を支援し、都心居住の推進と中心市街地 の活性化を図ります。	都市政策
	3 太田町地区市街地 住宅供給型優良 建築物等整備事業	42,000	太田町商店街通りに建設予定の商業店舗兼賃貸 住宅の整備を支援し、都心居住の推進と商店街の 活性化を図ります。	都市政策
	計	193,297		

(4)歴史・文化と次世代環境が調和したまちづくり

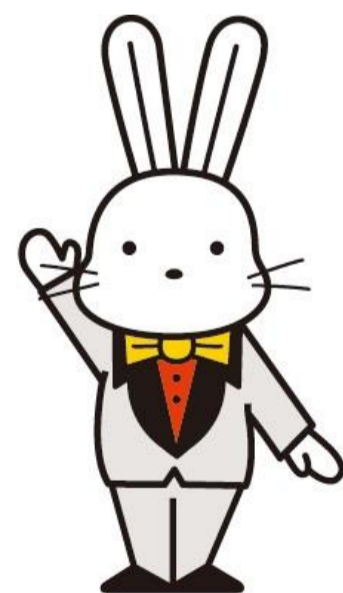
	事業名	予算額 千円	説明	担当部
	1 ふくしま芸術文化 振興事業	35,350	音楽文化振興のため、国内外で評価の高い 音楽家のコンサートを開催します。 また、小学生の親子を対象としたクラシック音楽 鑑賞教室や、市民音楽団体が参加するコンサート など、様々な事業を実施します。	教育委員会
	2 古関裕而顕彰活動 関連事業	37,762	名誉市民・故古関裕而氏の功績を永く後世に 伝えるため、コンサート型音楽祭の開催や顕彰 活動の支援等を行います。	教育委員会
○	3 写真美術館 再整備事業	272,821	震災で被災した写真美術館の復旧と活用に向けた 整備のため、 <u>改修工事</u> を実施します。 全体事業費(継続費分) 444,800千円 H31 272,821千円 H32 171,979千円	教育委員会
◎	4 旧広瀬座改修事業	7,543	旧広瀬座の保存と新たな施設利用の拡大を 図るための保存活用計画を策定します。	教育委員会
	5 旧広瀬座活用事業	3,032	旧広瀬座を活用し、民俗・伝統芸能等の公演 事業を実施します。	教育委員会



	事業名	予算額 千円	説明	担当部
	6 じょーもぴあ宮畑 活用推進事業	9,152	宮畑遺跡の魅力を発信するため、小学生の社会科学習で活用を図るほか、地域住民や遺跡の案内人など、ボランティア団体との協働により、多彩なイベントを実施します。	教育委員会
	7 太陽光発電システム 設置助成事業 	32,100	家庭における再生可能エネルギー導入を一層推進するため、住宅用太陽光発電システムの設置費用の一部を助成します。	環境
	8 ふくしま環境フェスタ 開催事業	1,200	環境保全に対する意識高揚を図るため、地球温暖化防止や再生可能エネルギー等に関するイベントを行います。	環境
	9 クールチョイス 普及啓発事業	8,000	メディア活用や環境学習を通じて、地球温暖化対策のためのクールチョイス(賢い選択)の普及啓発活動を推進します。	環境
○	10 水素社会実現推進 事業	2,825	水素を燃料とするバス(燃料電池バス)の試乗運行を実施し、水素エネルギーの特徴や有用性について情報を発信することで、普及啓発を図ります。	環境
	11 集団資源回収 事業の推進	14,038	リサイクル推進のため、町内会等の資源回収団体に対し報奨金を交付するとともに、資源回収業者へ助成金を交付します。	環境
○	12 ごみ減量化促進対策 事業	3,885	ごみ排出量が多い原因を分析し、効果的なごみの減量を図るため、「 <u>ごみ減量大作戦</u> 」を市民の皆さんと一緒に展開します。	環境
○	13 あぶくまクリーン センター焼却工場 再整備事業 	65,974	あぶくまクリーンセンター焼却工場の再整備に向けた基本計画の策定、環境影響評価等を行います。 (基本計画策定) 全体事業費(継続費分) 20,900千円 H31 15,048千円 H32 5,852千円  (環境影響評価) 全体事業費(継続費分) 195,000千円 H31 17,550千円 H32 128,700千円 H33 37,050千円 H34 7,800千円 H35 3,900千円	環境



	事業名	予算額	説明	担当部
○	14 新最終処分場整備事業	970,463	<p>新最終処分場整備に向け、<u>本体建設工事や浸出水処理施設建設工事等</u>を行います。</p> <p>(搬入道路新設工事)</p> <p>全体事業費(継続費分) 306,500千円</p> <p>H30 214,550千円</p> <p>H31 91,950千円</p> <p>(本体建設工事・工事監理業務)</p> <p>全体事業費(継続費分) 3,877,700千円</p> <p>H30 222,567千円</p> <p>H31 808,763千円</p> <p>H32 2,185,596千円</p> <p>H33 660,774千円</p> <p>(浸出水処理施設建設工事)</p> <p>全体事業費(継続費分) 1,335,000千円</p> <p>H31 66,750千円</p> <p>H32 667,500千円</p> <p>H33 600,750千円</p>	環境
	15 浄化槽設置整備事業	58,544	<p>合併処理浄化槽設置や単独浄化槽等の撤去にかかる費用の一部を補助します。</p>	都市政策
	計	1,522,689		



## 4 市民との協働によるまちづくり

	事業名	予算額 千円	説明	担当部
	1 ふくしま元気トーク 開催事業	310	市長がホストとなり市民と直接意見交換することで市民の思いを市政に反映させ、「開かれた市政」を推進します。	市民安全
	2 自治振興協議会 開催等	5,254	地域広聴の場を確保し、地域住民の意見や提言を市政に反映させ、協働のまちづくりを進めるため、自治振興協議会を開催するとともに、各地区協議会及び連合会の活動に対し交付金を交付します。	市民安全
	3 町内会等補助	90,732	健全な住民活動を促進するため、各地区の町内会や連合会等の活動に対し補助します。	市民安全
	4 市民活動活性化 支援事業	1,900	市民活動団体の立ち上げや運営等を支援し、団体の自立及び活性化と拡充を図ります。	市民安全
	5 地域コミュニティ等 支援事業	17,400	地域における課題解決や地域コミュニティの活性化、花いっぱい運動等、地域のまちづくりに資する事業を支援します。	市民安全
	6 地域生活基盤整備 事業	150,000	自治振興協議会からの提案に基づき、道路側溝や交通安全施設等の生活基盤を整備し、住みよい地域づくりを推進します。	建設
○	7 集会所建設費等 補助	5,827	地域活動の拠点となる集会所の新築・改築に対し、補助します。(3カ所を予定) 目増集会所(荒井) 湯野市民センター(飯坂町湯野) 東原集会所(町庭坂) また、 <u>バリアフリー改修</u> や小規模修繕、エアコンの設置などに対し、補助します。	市民安全
○	8 総合計画策定費	2,026	新しい総合計画の策定に向けて、市民の意見を取り入れるため、 <u>ワークショップ</u> などを実施します。	政策調整
	計	273,449		



## IV 一般会計当初予算の内容及び財政資料

### 1 科目別歳入予算

(単位:千円 %)

款 別	平成31年度		平成30年度		増 △ 減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率
1 市税	39,900,000	32.3	40,200,000	29.8	△ 300,000	△ 0.7
2 地方譲与税	987,316	0.8	1,020,000	0.8	△ 32,684	△ 3.2
3 利子割交付金	40,000	0.0	49,000	0.1	△ 9,000	△ 18.4
4 配当割交付金	104,000	0.1	105,000	0.1	△ 1,000	△ 1.0
5 株式等譲渡所得割交付金	38,000	0.0	38,000	0.0	0	0.0
6 地方消費税交付金	5,340,000	4.3	5,400,000	4.0	△ 60,000	△ 1.1
7 ゴルフ場利用税交付金	11,000	0.0	12,000	0.0	△ 1,000	△ 8.3
8 自動車取得税交付金	108,000	0.1	200,000	0.1	△ 92,000	△ 46.0
9 環境性能割交付金	39,000	0.0	-	-	39,000	皆増
10 国有提供施設等所在 市町村助成交付金	1,967	0.0	2,011	0.0	△ 44	△ 2.2
11 地方特例交付金	164,000	0.1	124,000	0.1	40,000	32.3
12 地方交付税	11,600,000	9.4	11,750,000	8.7	△ 150,000	△ 1.3
13 交通安全対策特別交付金	39,000	0.0	44,000	0.0	△ 5,000	△ 11.4
14 分担金及び負担金	1,231,905	1.0	1,257,711	0.9	△ 25,806	△ 2.1
15 使用料及び手数料	1,697,381	1.4	1,762,375	1.3	△ 64,994	△ 3.7
16 国庫支出金	16,710,250	13.6	17,163,785	12.7	△ 453,535	△ 2.6
17 県支出金	26,414,301	21.4	38,577,356	28.6	△ 12,163,055	△ 31.5
18 財産収入	374,859	0.3	248,780	0.2	126,079	50.7
19 寄附金	374,127	0.3	386,987	0.3	△ 12,860	△ 3.3
20 繰入金	4,014,376	3.3	2,955,949	2.2	1,058,427	35.8
21 繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
22 諸収入	4,216,917	3.4	3,186,045	2.4	1,030,872	32.4
23 市債	10,043,600	8.2	10,357,000	7.7	△ 313,400	△ 3.0
合 計	123,450,000	100.0	134,840,000	100.0	△ 11,390,000	△ 8.4

#### <主な増減理由>

- 1 市税、12 地方交付税、23 市債 → 4ページ参照
- 16 国庫支出金 福島再生加速化交付金の減
- 17 県支出金 除去土壌搬出等推進事業費にかかる県負担金の減
- 20 繰入金 財政調整基金繰入金の増

## 2 科目別歳出予算

(単位:千円 %)

款別	平成31年度		平成30年度		増△減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率
1 議会費	655,176	0.5	653,946	0.5	1,230	0.2
2 総務費	9,794,256	7.9	8,882,563	6.6	911,693	10.3
3 民生費	39,141,861	31.7	38,280,192	28.4	861,669	2.3
4 衛生費	10,024,655	8.1	10,928,619	8.1	△ 903,964	△ 8.3
5 労働費	156,808	0.1	132,018	0.1	24,790	18.8
6 農林水産業費	3,271,618	2.7	5,333,767	3.9	△ 2,062,149	△ 38.7
7 商工費	5,791,551	4.7	4,029,551	3.0	1,762,000	43.7
8 土木費	11,419,125	9.3	11,399,411	8.5	19,714	0.2
9 消防費	3,253,122	2.6	3,604,570	2.7	△ 351,448	△ 9.8
10 教育費	12,535,057	10.2	10,196,673	7.6	2,338,384	22.9
11 災害復旧費	19,000,000	15.4	32,954,000	24.4	△ 13,954,000	△ 42.3
12 公債費	8,206,771	6.6	8,244,690	6.1	△ 37,919	△ 0.5
13 予備費	200,000	0.2	200,000	0.1	0	0.0
合計	123,450,000	100.0	134,840,000	100.0	△ 11,390,000	△ 8.4

### ＜主な増減理由＞

- 3 民生費 児童扶養手当及び児童発達支援事業費の増
- 4 衛生費 新斎場整備事業費及び保健福祉総合情報システム運用事業費の減
- 6 農林水産業費 ため池等放射性物質対策事業費及び農山村地域復興基盤総合整備事業交付金基金積立金の減
- 7 商工費 プレミアム付商品券事業費及び地域振興施設整備事業費の皆増
- 8 土木費 福島駅東口地区市街地再開発事業費及び新浜町地区優良再開発型優良建築物等整備事業費の皆増
- 9 消防費 高機能消防指令システム更新整備事業費の皆減
- 10 教育費 福島養護学校校舎等改築事業費の増、ICT教育フューチャービジョン推進事業費の皆増
- 11 災害復旧費 除去土壌搬出等推進事業費の減、道路等側溝堆積物撤去事業費の皆減

### 3 自主・依存財源の内訳

※除染関連事業にかかる財源19,393,000千円を除いた場合は、自主財源比率49.2%、依存財源50.8%の割合となります。

(単位:千円 %)

区 分	平成31年度			平成30年度		増 △ 減	
	予算額	構成比		予算額	構成比	予算額	増減率
除染事業を除く							
<b>自主財源</b>							
市税	39,900,000	32.3	38.4	40,200,000	29.8	△ 300,000	△ 0.7
分担金及び負担金	1,231,905	1.0	1.2	1,257,711	0.9	△ 25,806	△ 2.1
使用料及び手数料	1,697,381	1.4	1.6	1,762,375	1.3	△ 64,994	△ 3.7
財産収入	374,859	0.3	0.4	248,780	0.2	126,079	50.7
寄附金	99,422	0.1	0.1	115,387	0.1	△ 15,965	△ 13.8
繰入金	4,014,376	3.3	3.5	2,955,949	2.2	1,058,427	35.8
繰越金	1	0.0	0.0	1	0.0	0	0.0
諸収入	4,177,343	3.4	4.0	3,138,920	2.3	1,038,423	33.1
小 計	51,495,287	41.8	49.2	49,679,123	36.8	1,816,164	3.7
<b>依存財源</b>							
地方譲与税	987,316	0.8	1.0	1,020,000	0.8	△ 32,684	△ 3.2
利子割交付金	40,000	0.0	0.0	49,000	0.1	△ 9,000	△ 18.4
配当割交付金	104,000	0.1	0.1	105,000	0.1	△ 1,000	△ 1.0
株式等譲渡所得割交付金	38,000	0.0	0.0	38,000	0.0	0	0.0
地方消費税交付金	5,340,000	4.3	5.1	5,400,000	4.0	△ 60,000	△ 1.1
ゴルフ場利用税交付金	11,000	0.0	0.0	12,000	0.0	△ 1,000	△ 8.3
自動車取得税交付金	108,000	0.1	0.1	200,000	0.1	△ 92,000	△ 46.0
環境性能割交付金	39,000	0.0	0.0	-	-	39,000	皆増
国有提供施設等所在 市町村助成交付金	1,967	0.0	0.0	2,011	0.0	△ 44	△ 2.2
地方特例交付金	164,000	0.1	0.2	124,000	0.1	40,000	32.3
地方交付税	11,600,000	9.4	11.1	11,750,000	8.7	△ 150,000	△ 1.3
交通安全対策特別交付金	39,000	0.0	0.0	44,000	0.0	△ 5,000	△ 11.4
国庫支出金	16,710,250	13.6	16.1	17,163,785	12.7	△ 453,535	△ 2.6
県支出金	26,414,301	21.4	7.1	38,577,356	28.6	△12,163,055	△ 31.5
寄附金	274,705	0.2	0.3	271,600	0.2	3,105	1.1
諸収入	39,574	0.0	0.0	47,125	0.1	△ 7,551	△ 16.0
市債	10,043,600	8.2	9.7	10,357,000	7.7	△ 313,400	△ 3.0
小 計	71,954,713	58.2	50.8	85,160,877	63.2	△13,206,164	△ 15.5
合 計	123,450,000	100.0	100.0	134,840,000	100.0	△11,390,000	△ 8.4

#### 4 性質別歳出予算

(単位:千円 %)

性 質 別	平成31年度		平成30年度		増 △ 減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率
<b>義務的経費</b>						
人件費	17,062,304	13.8	16,680,052	12.4	382,252	2.3
扶助費	24,012,820	19.5	23,288,948	17.3	723,872	3.1
公債費	8,206,771	6.6	8,244,690	6.1	△ 37,919	△ 0.5
小 計	49,281,895	39.9	48,213,690	35.8	1,068,205	2.2
<b>消費的経費</b>						
物件費	19,522,118	15.8	18,701,034	13.9	821,084	4.4
維持補修費	1,688,253	1.4	1,111,253	0.8	577,000	51.9
補助費等	9,895,303	8.0	8,452,828	6.3	1,442,475	17.1
小 計	31,105,674	25.2	28,265,115	21.0	2,840,559	10.0
<b>投資的経費</b>						
普通建設事業費(補助)	6,729,925	5.4	6,100,802	4.5	629,123	10.3
普通建設事業費(単独)	5,895,076	4.8	6,727,841	5.0	△ 832,765	△ 12.4
小 計	12,625,001	10.2	12,828,643	9.5	△ 203,642	△ 1.6
<b>災害復旧費</b>						
災害復旧費(補助)	19,000,000	15.4	32,954,000	24.4	△ 13,954,000	△ 42.3
災害復旧費(単独)	22,245	0.0	13,826	0.0	8,419	60.9
小 計	19,022,245	15.4	32,967,826	24.4	△ 13,945,581	△ 42.3
<b>その他</b>						
積立金	346,704	0.3	1,181,203	0.9	△ 834,499	△ 70.6
投資及び出資金	100	0.0	100	0.0	0	0.0
貸付金	1,509,101	1.2	1,762,001	1.3	△ 252,900	△ 14.4
繰出金	9,359,280	7.6	9,421,422	7.0	△ 62,142	△ 0.7
予備費	200,000	0.2	200,000	0.1	0	0.0
小 計	11,415,185	9.3	12,564,726	9.3	△ 1,149,541	△ 9.1
合 計	123,450,000	100.0	134,840,000	100.0	△ 11,390,000	△ 8.4

<主な増減理由>

人件費	職員給与費の増
扶助費	児童扶養手当及び児童発達支援事業費の増
物件費	ICT教育フューチャービジョン推進事業費及び消防救急デジタル無線更新整備事業費の皆増
維持補修費	舗装道維持修繕費及び土留側溝維持修繕費の増
補助費等	東北六市連携事業費の増、プレミアム付商品券事業費の皆増
普通建設 (補助)	福島養護学校校舎等改築事業費の増、福島駅東口地区市街地再開発事業費の皆増
普通建設 (単独)	新斎場整備事業費の減、高機能消防指令システム更新整備事業費の皆減
災害復旧 (補助)	除去土壌搬出等推進事業費の減、道路等側溝堆積物撤去事業費の皆減
災害復旧 (単独)	汚泥放射能対策費の増
積立金	農山村地域復興基盤総合整備事業交付金基金積立金の減
貸付金	中小企業振興預託金の減

## 5 地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる 社会保障施策経費について



地方消費税の引上げ分に係る税収については、年金・医療・介護・少子化対策をはじめとする社会保障施策経費に充てることとされています。

本市の平成31年度歳入予算における地方消費税交付金のうち、社会保障財源化分は約31.4億円であり、この財源は下記事業の一般財源の一部となっています。

(単位 千円)

事業名		予算額	財源内訳	
			特定財源	一般財源
社会福祉費	社会福祉総務費	800,420	15,108	785,312
	国民健康保険事業費 特別会計繰出金	1,888,588	857,815	1,030,773
	障害者福祉費	5,722,292	3,863,376	1,858,916
	老人福祉費	872,040	93,857	778,183
	介護保険費	3,777,799	39,582	3,738,217
	後期高齢者医療費	3,319,340	450,349	2,868,991
	小計	16,380,479	5,320,087	11,060,392
児童福祉費	児童福祉総務費	1,438,119	531,095	907,024
	児童措置費	16,024,559	10,624,480	5,400,079
	児童福祉施設費	267,540	122,463	145,077
	小計	17,730,218	11,278,038	6,452,180
生活保護費	生活保護総務費	260,145	31,055	229,090
	扶助費	4,718,444	3,538,963	1,179,481
	小計	4,978,589	3,570,018	1,408,571
保健衛生費	保健衛生総務費	675,619	336	675,283
	保健所費	733,723	52,540	681,183
	保健指導費	509,531	107,784	401,747
	健康増進費	937,369	112,928	824,441
	予防費	767,709	9,469	758,240
	小計	3,623,951	283,057	3,340,894
幼稚園費	幼稚園費	710,068	126,645	583,423
合計		43,423,305	20,577,845	22,845,460



## V 各特別会計

(単位:千円 %)

区 分	平成31年度	平成30年度	対前年度 増△減	対前年度 増△減率
1 国民健康保険事業費	23,876,945	24,440,408	△ 563,463	△ 2.3
2 飯坂町財産区	94,276	100,671	△ 6,395	△ 6.4
3 公設地方卸売市場事業費	208,583	221,115	△ 12,532	△ 5.7
4 土地区画整理事業費	276,734	287,583	△ 10,849	△ 3.8
5 介護保険事業費	26,029,376	25,821,363	208,013	0.8
6 庁舎整備基金運用	1,001,500	1,001,500	0	0.0
7 後期高齢者医療事業費	3,483,561	3,457,574	25,987	0.8
8 青木財産区	1,852	2,252	△ 400	△ 17.8
9 工業団地整備事業費	1,056,560	526,118	530,442	100.8
10 母子父子寡婦福祉資金 貸付事業費	16,318	18,321	△ 2,003	△ 10.9
計	56,045,705	55,876,905	168,800	0.3

### <主な増減理由>

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 1 国民健康保険事業費        | 保険給付費の減               |
| 2 飯坂町財産区           | 温泉供給設備整備費の減           |
| 3 公設地方卸売市場事業費      | 公債費の減                 |
| 4 土地区画整理事業費        | 福島北土地区画整理事業費における公債費の減 |
| 5 介護保険事業費          | 保険給付費及び地域支援事業費の増      |
| 7 後期高齢者医療事業費       | 事務費の増                 |
| 9 工業団地整備事業費        | 公債費の増                 |
| 10 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費 | 貸付事業費の減               |

## VI 各事業会計

### 1 水道事業会計

#### (1) 予算額(予定額)

(単位:千円、%)

区分	平成31年度	平成30年度	対前年度 増△減	対前年度 増△減率
収益的収入	7,770,401	7,802,228	△ 31,827	△0.4%
収益的支出	7,071,126	7,316,414	△ 245,288	△3.4%
資本的収入	1,547,368	1,185,987	361,381	30.5%
資本的支出	4,081,275	3,991,908	89,367	2.2%
支出合計	11,152,401	11,308,322	△ 155,921	△1.4%

#### (2) 主な事業

(単位:千円)

ふくしま水道事業ビジョン 4つの基本方針	予算額	説明
1 安全でおいしい水の供給	387,425	<p>水質管理を徹底し、いつでも良質で安全なおいしい水を供給できる水道を目指します。</p> <p>(主な事業) ①水安全計画に基づく水質管理 ②民営簡易水道組合統合事業 等</p>
2 災害に強い水道の構築	2,308,611	<p>適切な施設管理と維持管理の強化に努め相互応援体制の確立を図り、災害に強い水道を目指します。</p> <p>(主な事業) ①老朽管更新事業 ②水道施設情報管理システムの構築 等</p>
3 持続可能な水道経営	874,728	<p>お客さまニーズの把握と健全経営に努め、持続可能な水道経営を目指します。</p> <p>(主な事業) ①上水道加入促進策 ②遊休施設の整理推進 ③有収率向上対策 ④ペットボトル「ふくしまの水」の活用 等</p>
4 地球にやさしい水道へ挑戦	108	<p>良質な水道水の源となる水源を今後も保護しながら、自然環境への負荷低減を目指します。</p> <p>(主な事業) ①水源保全活動の実施 ②水源保全活動団体への助成</p>

## 2 下水道事業会計

### (1) 予算額(予定額)

(単位:千円 %)

区分	平成31年度	平成30年度	対前年度 増△減	対前年度 増△減率
収益的収入	7,672,013	7,717,475	△ 45,462	△ 0.6%
収益的支出	7,030,688	6,979,285	51,403	0.7%
資本的収入	2,828,831	2,749,384	79,447	2.9%
資本的支出	5,761,508	5,758,689	2,819	0.0%
支出合計	12,792,196	12,737,974	54,222	0.4%

### (2) 主な事業

(単位:千円)

事業名	予算額	説明
1 管路建設事業 【3月補正前倒し分】	1,630,082 (171,000)	未普及地区の下水道整備(施工延長L=4,396m)及び老朽管の更新を実施 ※費用の一部を3月補正に前倒しします。
2 処理場改良事業	249,000	堀河町終末処理場の耐震補強工事や土湯温泉町浄化センターの運転監視装置の更新等を実施
3 阿武隈川上流流域下水道建設事業	150,993	県が実施する流域下水道整備事業に対し、事業費の一部を負担
4 水洗化普及対策事業	7,323	未水洗化世帯に対する下水道接続指導及び排水設備設置資金の融資に対する利子補給を実施

※3月補正前倒し分は当初予算額には含みません。

## 3 農業集落排水事業会計

### (1) 予算額(予定額)

(単位:千円 %)

区分	平成31年度	平成30年度	対前年度 増△減	対前年度 増△減率
収益的収入	168,438	181,557	△ 13,119	△ 7.2%
収益的支出	168,438	181,557	△ 13,119	△ 7.2%
資本的収入	67,722	54,898	12,824	23.4%
資本的支出	132,081	120,303	11,778	9.8%
支出合計	300,519	301,860	△ 1,341	△ 0.4%

### (2) 主な事業

(単位:千円)

事業名	予算額	説明
1 管路改良事業	6,700	排水管の布設替を実施